

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 1組～5組
 教科担当者：（1,2組：高橋）（3,4組：高橋）（5組：高橋）（組：）（組：）（組：）
 使用教科書：（ ）

- 教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】社会生活に必要な知識や技能を身につける。
 【思考力、判断力、表現力等】想像力や伝達力、思考力を高めて、自らの考えを深める。
 【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して自己を高め、他者や社会に関わろうという意識を養う。

科目 文学国語	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
社会で生活していくに必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の考えを深めていく。
	【学びに向かう力、人間性等】
	読書に親しむことで自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に積極的に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			読	書	読					
1 学期	A 随想 【知識及び技能】 文意をしっかりと辿る。 【思考力、判断力、表現力等】 何が言い表されているのかを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分びあてはめて考える。	角田光代「そとみとなかみ」 内容読解	○		○	文章のひとつひとつの言葉にどれだけ丁寧に 向き合い、どれだけしっかりと受け止め、ど れだけ深く思い描くことができたか。自分の 感じ取ったところをどれだけ言葉に出来た か。そこを定期試験や提出物で見極めて評価 する。	○	○	○	6
	B 小説 【知識及び技能】 記されている事柄を正確に辿る。 【思考力、判断力、表現力等】 描かれている事柄を思い描く。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の心情を思い描くこととする。	江國香織「晴れた空の下で」 内容読解		○	○	文章のひとつひとつの言葉にどれだけ丁寧に 向き合い、どれだけしっかりと受け止め、ど れだけ深く思い描くことができたか。自分の 感じ取ったところをどれだけ言葉に出来た か。そこを定期試験や提出物で見極めて評価 する。	○	○	○	8
	定期考査						○	○	○	1
	B 小説 【知識及び技能】 言い表されている事柄を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 言い表されている事柄の意味を思い描 く。 【学びに向かう力、人間性等】 自分にあてはめて考えてみる。	安部公房「鞆」 内容読解		○	○	文章のひとつひとつの言葉にどれだけ丁寧に 向き合い、どれだけしっかりと受け止め、ど れだけ深く思い描くことができたか。自分の 感じ取ったところをどれだけ言葉に出来た か。そこを定期試験や提出物で見極めて評価 する。	○	○	○	12
	D 古文 【知識及び技能】 古語をしっかりと辿る。 【思考力、判断力、表現力等】 記されている内容を思い描く。 【学びに向かう力、人間性等】 古語の世界に向き合おうとする。	醒酔笑「星取り」 沙石集「児の飴食ひたること」 内容読解	○	○		文章のひとつひとつの言葉にどれだけ丁寧に 向き合い、どれだけしっかりと受け止め、ど れだけ深く思い描くことができたか。自分の 感じ取ったところをどれだけ言葉に出来た か。そこを定期試験や提出物で見極めて評価 する。	○	○	○	4
定期考査						○	○	○	1	
2 学期	E 小説 【知識及び技能】 述べられている事柄をしっかりと辿る。 【思考力、判断力、表現力等】 言い表された事を具体的に思い描く。 【学びに向かう力、人間性等】 状況と心情との兼ね合いを思い描く。	中島敦「山月記」 内容読解		○	○	文章のひとつひとつの言葉にどれだけ丁寧に 向き合い、どれだけしっかりと受け止め、ど れだけ深く思い描くことができたか。自分の 感じ取ったところをどれだけ言葉に出来た か。そこを定期試験や提出物で見極めて評価 する。		1		1
	定期考査					○	○	○	1	
	E 随想 【知識及び技能】 述べられている事柄をしっかりと辿る。 【思考力、判断力、表現力等】 言い表された事を具体的に思い描く。 【学びに向かう力、人間性等】 状況と心情との兼ね合いを思い描く。	島中恵「柿」 川上未映子「ぼくのお母さん」 内容読解 文章表現		○	○	文章のひとつひとつの言葉にどれだけ丁寧に 向き合い、どれだけしっかりと受け止め、ど れだけ深く思い描くことができたか。自分の 感じ取ったところをどれだけ言葉に出来た か。そこを定期試験や提出物で見極めて評価 する。				
定期考査						○	○	○	1	
3 学期	E 詩 【知識及び技能】 飛躍した表現をしっかりと辿る。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉と言葉とのつながりの意味合いを 理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 描かれた世界を実感する。	室生犀星「小景異情」 吉田可南子「コスモス」 内容読解		○	○	文章のひとつひとつの言葉にどれだけ丁寧に 向き合い、どれだけしっかりと受け止め、ど れだけ深く思い描くことができたか。自分の 感じ取ったところをどれだけ言葉に出来た か。そこを定期試験や提出物で見極めて評価 する。	○	○	○	3
	E 小説 【知識及び技能】 心情の推移をしっかりと辿る。 【思考力、判断力、表現力等】 心情を実感的に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 理解した内容を適切に言い表す。	辻村深月「さくら日和」		○	○	文章のひとつひとつの言葉にどれだけ丁寧に 向き合い、どれだけしっかりと受け止め、ど れだけ深く思い描くことができたか。自分の 感じ取ったところをどれだけ言葉に出来た か。そこを定期試験や提出物で見極めて評価 する。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	合計 44

年間授業計画

高等学校 令和5年度

教科

国語

科目 古典探究

教科：国語

科目：古典探究

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 5組

教科担当者：(佐藤喜夫)

使用教科書：(第一学習社「高等学校 精選古典探究」)

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】将来にわたって豊かな言語生活を営むための知識・技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力、共感力、想像力を養い、自己の視野を広げ、考えを深める。

【学びに向かう力、人間性等】言語活動を通じて他者や社会に積極的に関わろうという態度・姿勢を養う。

科目 古典探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典作品を読み味わうために必要な語彙や文法などの知識事項を習得する。	文章表現に即して文章内容を読み解き、伝統的な言語活動への理解を深めながら、先人たちのものの見方や感じ方を知ることによって自己の視野を広げたり考えを深めたりする。	自ら進んで古典に親しみ、言語活動を通じて他者や社会に積極的に関わろうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語	書	読					
1 学期	A 説話 著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情を読み取る。	古今著聞集「小式部内侍が大江山の歌の事」 ・文学史（説話文学） ・文法（品詞・活用） ・和歌の修辭 ・口語訳 ・読解	○	○	○	【知】文学史・文法・和歌の修辭・語彙等の知識事項の習得 【思】口語訳、読解 【態】授業への取り組み状況、ノート・演習プリント等の提出	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	B 随筆 鎌倉初期という時代の転換期に、作者が抱いた人の世に対する思いを読み取る。	方丈記「ゆく川の流れ」 ・文学史（随筆） ・文法（用言） ・口語訳 ・読解	○	○	○	【知】文学史・文法・語彙等の知識事項の習得 【思】口語訳、読解 【態】授業への取り組み状況、ノート・演習プリント等の提出	○	○	○	8
	B 随筆 物事を理知的にとらえた作者の視点、価値観を読み取る。	枕草子「すさまじきもの」 ・文法（助動詞・敬語） ・口語訳 ・読解	○	○	○	【知】文法・語彙等の知識事項の習得 【思】口語訳、読解 【態】授業への取り組み状況、ノート・演習プリント等の提出	○	○	○	8
定期考査							○	○		1
2 学期	C 歌物語 物語の中で和歌が果たしている役割を押さえ、場面と登場人物の心情とを読み味わう。	伊勢物語「初冠」 ・文学史（歌物語） ・文法（助動詞・敬語） ・口語訳 ・読解	○	○	○	【知】文学史・文法・和歌の修辭・語彙等の知識事項の習得 【思】口語訳、読解 【態】授業への取り組み状況、ノート・演習プリント等の提出	○	○	○	6
	B 随筆 騒乱と政変の時代を生きた作者の、世の諸事情に向けた批評を読み取る。	徒然草「あだし野の露消ゆるときなく」 ・文法（助動詞） ・口語訳 ・読解	○	○	○	【知】文法・語彙等の知識事項の習得 【思】口語訳、読解 【態】授業への取り組み状況、ノート・演習プリント等の提出	○	○	○	8
	定期考査							○	○	1
	D 物語 歌物語と作り物語の承譜を受け継ぐ物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの言動と心情を読み取る。	源氏物語「光る君誕生」 「若紫」 ・文学史（『源氏物語』） ・文法（助動詞・敬語） ・語訳 ・読解	○	○	○	【知】文学史・文法・語彙等の知識事項の習得 【思】口語訳、読解 【態】授業への取り組み状況、ノート・演習プリント等の提出	○	○	○	18
定期考査							○	○	1	
3 学期	E 歴史物語 実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの言動と心情を読み取る。	大鏡「弓争い」 ・文学史（歴史物語） ・文法（品詞・活用） ・口語訳 ・読解	○	○	○	【知】文学史・文法・和歌の修辭・語彙等の知識事項の習得 【思】口語訳、読解 【態】授業への取り組み状況、ノート・演習プリント等の提出	○	○	○	6
	F 日記 少女時代の自分を客観的に見つめた自伝的日記を読み、登場人物の言動と心情を読み取る。	更級日記「源氏の五十余巻」 ・文学史（日記文学） ・文法（助動詞・敬語） ・口語訳 ・読解	○	○	○	【知】文学史・文法・語彙等の知識事項の習得 【思】口語訳、読解 【態】授業への取り組み状況、ノート・演習プリント等の提出	○	○	○	8
	定期考査							○	○	1
									合計	75

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史科 科目 地理総合

教科：地理歴史科 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組：白井）（2組：白井）（3組：白井）（4組：山田）（5組：山田）

使用教科書：（高等学校 地理総合 世界を学び、地域をつくる(第一学習社)）

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】地理的かつ歴史的な事象に対する基礎的・基本的な知識・技能を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理的かつ歴史的な事象について、要因や結果、他の事象との関連性などを考え、その考えを表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】地理的かつ歴史的な事象について興味・関心、疑問を抱き、自らの考えを深めようとしている。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に対して、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や考察・構想したことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛着、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元 球面上の世界と地図</p> <p>【知識及び技能】 地図の読図を通して、方位や時差、日本の位置と領域について理解させる。地図やGISに関わる基礎的な地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地図やGISの目的や用途、内容、適切な活用など、それぞれ適切な主題を設定し、多面的・多角的に考察し、その結果を地図に表したり、他者と協議したりすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地図の読図によって現代世界を地理的な視点から概観し、世界的視野から日本の位置をとらえる中で、地図やGISの適切な活用の仕方を主体的に学習し、その学びを他者と対話する中で表現しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 地図の読図を通して、時差や日本の位置と領域を判断できるようにする。 GISの機能や現代世界においてどのような場面で活用されているかについて教授する。</p> <p>・教材 教科書・地図帳 一人1台端末の活用 ノートアプリを活用し、図やイラストを豊富に盛り込み、視覚的に理解しやすいノートを作成する。</p>	<p>【知識・技能】 地図の読図を通して、方位や時差、日本の位置と領域について理解させ、地図やGISを用いて国内や国家間の政治・経済・文化など様々な局面の統合を理解している。地図やGISに関わる基礎的な地理的技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 地図やGISの目的や用途、内容、適切な活用など、それぞれ適切な主題を設定し、多面的・多角的に考察し、その結果を地図に表したり、他者と協議したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地図の読図によって現代世界を地理的な視点から概観し、世界的視野から日本の位置をとらえる中で、地図やGISの適切な活用の仕方を主体的に学習し、その学びを他者と対話する中で表現しようとする態度が見られる。</p>	○	○	○	5
<p>B 単元</p> <p>【知識及び技能】 地図やGISを用いて国内や国家間の政治・経済・文化など様々な局面の統合を理解させる。地図やGISに関わる基礎的な地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 位置や分布に着目し、現代世界の地域構成について世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどについて考察し、その結果を自らの言葉や文章で表したり、他者と協議したりすることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代世界を地理的な視点から概観し、世界的視野から日本の位置をとらえる中で、地図やGISの適切な活用の仕方を主体的に学習し、その学びを他者と対話する中で表現しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 日本の領域や領土問題について教授する。国際社会における日本の立場や周辺国との間に抱える領土問題について教授する。日本が国際社会の中でどうあるべきかを考察させる。</p> <p>・教材 教科書・地図帳 一人1台端末の活用 ノートアプリを活用し、図やイラストを豊富に盛り込み、視覚的に理解しやすいノートを作成する。</p>	<p>【知識・技能】 地図やGISを用いて国内や国家間の政治・経済・文化など様々な局面の統合を理解している。地図やGISに関わる基礎的な地理的技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 位置や分布に着目し、現代世界の地域構成について世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどについて考察し、その結果を自らの言葉や文章で表したり、他者と協議したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界を地理的な視点から概観し、世界的視野から日本の位置をとらえる中で、地図やGISの適切な活用の仕方を主体的に学習し、その学びを他者と対話する中で表現しようとする態度が見られる。</p>	○	○	○	2
定期考査（中間考査）			○	○		1

1 学期

	<p>C 単元</p> <p>【知識及び技能】 人々の生活・文化が自然環境や社会環境から影響を受けたり、与えたりして多様性を持つことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活・文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、他者と話し合うことで自分の考えを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の特色ある生活・文化と身近な日本の生活・文化との共通点と相違点を比較し、国際理解と国際協力を踏まえた地域のあり方を主体的に考え、表現しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 世界の人々の特色ある生活・文化は、自然環境や歴史的背景、宗教などの地理的環境に影響を受けたり与えたりして多様性を持つことをを教授する。 ・教材 一人1台端末の活用 ノートアプリを活用し、図やイラストを豊富に盛り込み、視覚的に理解しやすいノートを作成する。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	11.5
	定期考査（期末考査）			○	○		1
	<p>D 単元</p> <p>【知識及び技能】 人々の生活・文化が自然環境や社会環境から影響を受けたり、与えたりして多様性を持つことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活・文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、他者と話し合うことで自分の考えを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の特色ある生活・文化と身近な日本の生活・文化との共通点と相違点を比較し、国際理解と国際協力を踏まえた地域のあり方を主体的に考え、表現しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 世界の人々の特色ある生活・文化は、自然環境や歴史的背景、宗教などの地理的環境に影響を受けたり与えたりして多様性を持つことをを教授する。 ・教材 一人1台端末の活用 ノートアプリを活用し、図やイラストを豊富に盛り込み、視覚的に理解しやすいノートを作成する。</p>	<p>【知識・技能】 人々の生活・文化が自然環境や社会環境から影響を受けたり、与えたりして多様性を持つことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活・文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、他者と話し合うことで自分の考えを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の特色ある生活・文化と身近な日本の生活・文化との共通点と相違点を比較し、国際理解と国際協力を踏まえた地域のあり方を主体的に考え、表現しようとする態度が見られる。</p>	○	○	○	12
	定期考査（中間考査）			○	○		1
2 学期	<p>E 単元</p> <p>【知識及び技能】 人々の生活・文化が自然環境や社会環境から影響を受けたり、与えたりして多様性を持つことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活・文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、他者と話し合うことで自分の考えを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の特色ある生活・文化と身近な日本の生活・文化との共通点と相違点を比較し、国際理解と国際協力を踏まえた地域のあり方を主体的に考え、表現しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 世界の人々の特色ある生活・文化は、自然環境や歴史的背景、宗教などの地理的環境に影響を受けたり与えたりして多様性を持つことをを教授する。 ・教材 一人1台端末の活用 ノートアプリを活用し、図やイラストを豊富に盛り込み、視覚的に理解しやすいノートを作成する。</p>	<p>【知識・技能】 人々の生活・文化が自然環境や社会環境から影響を受けたり、与えたりして多様性を持つことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 世界の人々の生活・文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、他者と話し合うことで自分の考えを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の特色ある生活・文化と身近な日本の生活・文化との共通点と相違点を比較し、国際理解と国際協力を踏まえた地域のあり方を主体的に考え、表現しようとする態度が見られる。</p>	○	○	○	14
	定期考査（期末考査）						1

	<p>E 単元</p> <p>【知識及び技能】 人々の生活・文化が自然環境や社会環境から影響を受けたり、与えたりして多様性を持つことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活・文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、他者と話し合うことで自分の考えを表現できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 世界の特色ある生活・文化と身近な日本の生活・文化との共通点と相違点を比較し、国際理解と国際協力を踏まえた地域のあり方を主体的に考え、表現しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 世界の人々の特色ある生活・文化は、自然環境や歴史的背景、宗教などの地理的環境に影響を受けたり与えたりして多様性を持つことを教授する。</p> <p>・教材 一人1台端末の活用 ノートアプリを活用し、図やイラストを豊富に盛り込み、視覚的に理解しやすいノートを作成する。</p>	<p>【知識・技能】 人々の生活・文化が自然環境や社会環境から影響を受けたり、与えたりして多様性を持つことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の人々の生活・文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、他者と話し合うことで自分の考えを表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 世界の特色ある生活・文化と身近な日本の生活・文化との共通点と相違点を比較し、国際理解と国際協力を踏まえた地域のあり方を主体的に考え、表現しようとする態度が見られる。</p>	○	○	○	2.5
3 学 期	<p>F 単元</p> <p>【知識及び技能】 自然災害の発生メカニズムやその偏在性、湿润地域の自然や災害について資料から必要な情報を適切に読み取り、地域のハザードマップから学校周辺地域で起こりうる災害を把握し、自身が取るべき防災のための行動について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ハザードマップなどを活用し、地域での災害発生時の避難所や避難経路などをまとめ、他の人に説明したり話し合うなどし、避難方法を判断できるようにする。また日本の自然と災害について、その被害と恩恵などを多面的・多角的に考察し、それらを他者と話し合い表現できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 周辺地域の過去の災害などを主体的に調べたり、防災力を高めるために、地域社会に貢献しようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 比較的降水量が多い日本の自然環境の特徴を理解させ、災害による被害を減らすためにハザードマップなどのデジタル機能を活用できるように指導する。</p> <p>・教材 一人1台端末の活用 ノートアプリを活用し、図やイラストを豊富に盛り込み、視覚的に理解しやすいノートを作成する。</p>	<p>【知識・技能】 自然災害の発生メカニズムやその偏在性、湿润地域の自然や災害について資料から必要な情報を適切に読み取り、地域のハザードマップから学校周辺地域で起こりうる災害を把握し、自身が取るべき防災のための行動について理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ハザードマップなどを活用し、地域での災害発生時の避難所や避難経路などをまとめ、他の人に説明したり話し合うなどし、避難方法を判断できるようにする。また日本の自然と災害について、その被害と恩恵などを多面的・多角的に考察し、それらを他者と話し合い表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 周辺地域の過去の災害などを主体的に調べたり、防災力を高めるために、地域社会に貢献しようとする態度が見られる。</p>	○	○	○	14
	定期考査（学年末考査）						1
							合計
							66

令和5年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科 科名	地理歴史科	科 目名	必修 選択 日本史探究	単 位 数	4	担当者名
							大島 達也
教科書		日本史探究 高校日本史(山川出版社)					
副教材		高校日本史ノート 日本史探究(山川出版社)					

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
1 学期	4	日本文化のあけぼの	原始の日本列島に起きた自然環境の変化を知り、それが人々の生活にどのような影響を与えたのかを考察する。	授業への取り組み状況 定期考査の点数など	64
	5	古墳とヤマト政権	古墳の形状や規模の変化を知り、ヤマト政権の国家統一過程との関連を考察する。		
	6	律令国家の形成	中国の制度を取り入れて律令による国家の枠組みをつくったことを知り、一方で従前の国家のうけついでいる点を考察する。		
	7	貴族政治の展開	律令政治の変容の在り方を知り、摂関政治や地方の受領支配が生まれてきた背景を考察する。		
2 学期	9	院政と武士の進出	摂関政治が衰退して院政が成立し、武士が台頭したことを知り、その理由を考察する。		
	10	武家政権の成立	最初の本格的な武家政権である鎌倉幕府が成立した過程を知り、武士の地位や立場がどのように変化したかを考察する。		
	11	武家社会の成長(1)	鎌倉幕府滅亡から室町幕府滅亡までの過程を知り、その混乱と室町期の守護の権限強化との関連性を考察する。		
	12	武家社会の成長(2)	幕府の支配力低下が下剋上の社会をもたらしたことを知り、その中でこそ成長したものは何かを考察する。		
3 学期	1	近世の幕開け	織豊政権の成立過程を知り、政治や社会の在り方の変容にはどのような背景があったのかを考察する。		48
	2	幕藩体制の成立と展開	豊臣政権の崩壊と江戸幕府成立の過程を知り、江戸幕府の長期安定化の理由を考察する。		
			18世紀以降、江戸幕府の財政悪化		

3 幕藩体制の動揺

が深刻化したことを知り、幕藩体制が崩壊に至った諸原因について考察する。

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史科 科目 世界史探究

教科：地理歴史科 科目：世界史探究 単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 1組～5組

教科担当者：(1,2組：山田) (3,4組：山田) (5組：山田)

使用教科書：(高校世界史(山川出版))

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】地理的かつ歴史的な事象に対する基礎的・基本的な知識・技能を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理的かつ歴史的な事象について、要因や結果、他の事象との関連性などを考え、その考えを表現することが

【学びに向かう力、人間性等】地理的かつ歴史的な事象について興味・関心、疑問を抱き、自らの考えを深めようとしている。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国やその文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	A 単元 文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】 各地の古代文明についての特色について理解させる。王の役割や社会制度などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 各地の古代文明についての特色について理解し、そこに見られる共通点や相違点を考察させる。王の役割や社会制度などについて、その共通点と相違点を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 各地の古代文明についての特色に王の役割や社会制度などについて、その共通点と相違点を考察させるとともに、考えた結果を他者と話し合う態度を養う。	・指導事項 古代オリエント文明 インダス文明とアリア人 中国の古代文明 ・教材 教科書・準拠ノート・タブレットPC ・一人1台端末の活用 ノートアプリを活用し図や資料を盛り込んだノートを作成する。	【知識・技能】 各地の古代文明についての特色について理解させる。王の役割や社会制度などについて理解できる。 【思考・判断・表現】 各地の古代文明についての特色について理解し、そこに見られる共通点や相違点を考察させる。王の役割や社会制度などについて、その共通点と相違点を考察し、その内容を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 各地の古代文明についての特色に王の役割や社会制度などについて、その共通点と相違点を考察させるとともに、考えた結果を他者と話し合う態度が見られる。	○	○	○	9
	B 単元 中央ユーラシアと東アジア世界 【知識及び技能】 中央ユーラシアにおいて展開された王朝の交代やその歴史的展開などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 中央ユーラシアにおいて展開された王朝の交代やその歴史的展開などについて、そこから読み取れる中央ユーラシアの歴史の特徴や独自性について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 中央ユーラシアにおいて展開された王朝の交代やその歴史的展開などについて、そこから読み取れる中央ユーラシアの歴史の特徴や独自性について考察させ、その内容を表現できるようにする。	・指導事項 秦漢帝国 北方遊牧民 隋唐帝国 ・教材 教科書・準拠ノート・タブレットPC ・一人1台端末の活用 ノートアプリを活用し図や資料を盛り込んだノートを作成する。	【知識・技能】 中央ユーラシアにおいて展開された王朝の交代やその歴史的展開などについて理解できる。 【思考・判断・表現】 中央ユーラシアにおいて展開された王朝の交代やその歴史的展開などについて、そこから読み取れる中央ユーラシアの歴史の特徴や独自性について考察し、その内容を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 中央ユーラシアにおいて展開された王朝の交代やその歴史的展開などについて、そこから読み取れる中央ユーラシアの歴史の特徴や独自性について考察させ、その内容を他者と共有し話し合おうとする態度が見られる。	○	○	○	9
	定期考査（中間考査）			○	○		1
	C 単元 南アジア世界の展開と西アジア・地中海周辺の国家形成 【知識及び技能】 南アジア世界の歴史諸事象について理解する。仏教の成立や展開について理解する。古代ギリシアにおける民主政の発展について理解する。ローマ帝国の歴史的展開について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 南アジア世界の歴史諸事象について理解するし、仏教の成立や展開と関連付けて考察させる。古代ギリシアにおける民主政について、現代日本の民主政と比較し考察できるようにする。ローマ帝国の歴史展開とその後の世界の歴史に与えた影響について考察し表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 南アジア世界の歴史諸事象について理解するし、仏教の成立や展開と関連付けて考察し表現しようとする態度を養う。古代ギリシアにおける民主政について、現代日本	・指導事項 南アジアの諸王朝 古代ギリシア 古代ローマ キリスト教 ・教材 教科書・準拠ノート・タブレットPC ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 南アジア世界の歴史諸事象について理解する。仏教の成立や展開について理解する。古代ギリシアにおける民主政の発展について理解する。ローマ帝国の歴史的展開について理解できる。 【思考・判断・表現】 南アジア世界の歴史諸事象について理解するし、仏教の成立や展開と関連付けて考察できる。古代ギリシアにおける民主政について、現代日本の民主政と比較し考察できるようにする。ローマ帝国の歴史展開とその後の世界の歴史に与えた影響について考察し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 南アジア世界の歴史諸事象について理解するし、仏教の成立や展開と関連付けて考察し表現しようとする態度が見られる。古代ギリシアにおける民主政について、現代日本の民主政と比較し考察できるようにする。ローマ帝国の歴史展開とその後の世界の歴史に与えた影響について考察し表現できる。	○	○	○	13

	の民主政と比較し考察できるようにする。ローマ帝国の歴史展開とその後の世界の歴史に与えた影響について考察し表現できるようにする。								
	D 単元 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 【知識及び技能】 イスラーム教の成立とその歴史的展開について理解する。キリスト教的世界観に基づいてヨーロッパ世界が形成されていく過程とその特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 イスラーム教の成立とその歴史的展開について、世界中に拡大できた理由やその要因などを考察し表現することができるようにする。キリスト教的世界観に基づいてヨーロッパ世界が形成されていく過程とその特色を理解し、その内容を表現し、他者と共有できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 イスラーム教の成立とその歴史的展開について、世界中に拡大できた理由やその要因などを考察し表現しようとする態度を養う。キリスト教的世界観に基づいてヨーロッパ世界が形成されていく過程とその特色を理解し、その内容を表現し、他者と共有する態度を養う。	・指導事項 イスラーム教 ゲルマン人 ビザンツ帝国 フランク王国 キリスト教 ・教材 教科書・準拠ノート・タブレットPC ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 イスラーム教の成立とその歴史的展開について理解できる。キリスト教的世界観に基づいてヨーロッパ世界が形成されていく過程とその特色を理解できる。 【思考・判断・表現】 イスラーム教の成立とその歴史的展開について、世界中に拡大できた理由やその要因などを考察し表現することができる。キリスト教的世界観に基づいてヨーロッパ世界が形成されていく過程とその特色を理解し、その内容を表現し、他者と共有できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム教の成立とその歴史的展開について、世界中に拡大できた理由やその要因などを考察し表現しようとする態度が見られる。キリスト教的世界観に基づいてヨーロッパ世界が形成されていく過程とその特色を理解し、その内容を表現し、他者と共有する態度が見られる。			○	○	○	6
	定期考査（期末考査）					○	○		1
	E 単元 イスラーム教の伝播と西アジアの動向、ヨーロッパ世界の変容と展開 【知識及び技能】 トルコ人のイスラーム化が進む過程とその国家について理解させる。インド＝イスラーム国家の推移について理解させる。イベリア半島内における国土回復運動と文化の受容と融合が進んだことを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 トルコ人のイスラーム化が進む過程とその国家について考察させる。インド＝イスラーム国家の推移について理解し、その影響を考察し表現させる。イベリア半島内における国土回復運動と文化の受容と融合が進んだことを考察・表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 トルコ人のイスラーム化が進む過程とその国家について考察し表現しようとする態度を養う。インド＝イスラーム国家の推移について理解し、その影響を考察し表現しようとする態度を養う。イベリア半島内における国土回復運動と文化の受容と融合が進んだことを考察・表現し他者と話し合おうとする態度を養う。	・指導事項 トルコ系イスラーム国家 インド＝イスラーム国家 イベリア半島のイスラーム国家 神聖ローマ皇帝と教皇 封建制社会 十字軍 教会建築 ・教材 教科書・準拠ノート・タブレットPC ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 トルコ人のイスラーム化が進む過程とその国家について理解できる。インド＝イスラーム国家の推移について理解させる。イベリア半島内における国土回復運動と文化の受容と融合が進んだことを理解できる。 【思考・判断・表現】 トルコ人のイスラーム化が進む過程とその国家について考察している。インド＝イスラーム国家の推移について理解し、その影響を考察し表現できる。イベリア半島内における国土回復運動と文化の受容と融合が進んだことを考察・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 トルコ人のイスラーム化が進む過程とその国家について考察し表現しようとする態度が見られる。インド＝イスラーム国家の推移について理解し、その影響を考察し表現しようとする態度が見られる。イベリア半島内における国土回復運動と文化の受容と融合が進んだことを考察・表現し他者と話し合おうとする態度が見られる。			○	○	○	17
	定期考査（中間考査）					○	○		1
	F 単元 東アジア世界の展開とモンゴル帝国そしてアジアの諸帝国の繁栄、大交易時代と近世ヨーロッパ世界 【知識及び技能】 唐から宋にかけての変遷や社会・文化の変容、モンゴル帝国の形成により溶剤交易ネットワークが形成され、アジアを中心とする「世界の一体化」が進んだことを理解させる。ポルトガルやスペインの海外進出により「世界の一体化」が本格的になったことを理解させる。アジア諸帝国の変遷と、社会と文化を概観し、その特徴を理解させる。近世ヨーロッパの動向について、宗教改革や戦争、各国の国政をを概観し、比較すること	・指導事項 宋王朝、モンゴル帝国 明清王朝 大交易時代 オスマン帝国、ムガル帝国 ルネサンス 宗教改革、宗教戦争 主権国家体制の成立 ・教材 教科書・準拠ノート・タブレットPC ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 唐から宋にかけての変遷や社会・文化の変容、モンゴル帝国の形成により溶剤交易ネットワークが形成され、アジアを中心とする「世界の一体化」が進んだことを理解させる。ポルトガルやスペインの海外進出により「世界の一体化」が本格的になったことを理解させる。アジア諸帝国の変遷と、社会と文化を概観し、その特徴を理解させる。近世ヨーロッパの動向について、宗教改革や戦争、各国の国政をを概観し、比較すること						

<p>とで考察し理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 唐から宋にかけての変遷や社会・文化の変容、モンゴル帝国の形成により溶剤交易ネットワークが形成され、アジアを中心とする「世界の一体化」が進んだことを理解させる。ポルトガルやスペインの海外進出により「世界の一体化」が本格的になったことを考察させ、表現させる。アジア諸帝国の変遷と、社会と文化を概観し、その特徴を理解させる。近世ヨーロッパの動向について、宗教改革や戦争、各国の国政をを概観し、比較することで考察し理解させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 唐から宋にかけての変遷や社会・文化の変容、モンゴル帝国の形成により溶剤交易ネットワークが形成され、アジアを中心とする「世界の一体化」が進んだことを理解させる。ポルトガルやスペインの海外進出により「世界の一体化」が本格的になったことを理解させる。アジア諸帝国の変遷と、社会と文化を概観し、その特徴を理解させる。近世ヨーロッパの動向について、宗教改革や戦争、各国の国政をを概観し、比較することで考察し理解させる。</p>		<p>「世界の一体化」が本格的になったことを考察させ、表現させる。アジア諸帝国の変遷と、社会と文化を概観し、その特徴を理解させる。近世ヨーロッパの動向について、宗教改革や戦争、各国の国政をを概観し、比較することで考察し理解できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 唐から宋にかけての変遷や社会・文化の変容、モンゴル帝国の形成により溶剤交易ネットワークが形成され、アジアを中心とする「世界の一体化」が進んだことを理解・表現しようとする態度が見られる。ポルトガルやスペインの海外進出により「世界の一体化」が本格的になったことを理解させる。アジア諸帝国の変遷と、社会と文化を概観し、その特徴を理解させる。近世ヨーロッパの動向について、宗教改革や戦争、各国の国政をを概観し、比較することで考察しようとする態度が見られる。</p>	○	○	○	18
<p>定期考査（期末考査）</p>			○	○		1
<p>3 学 期</p> <p>G 単元 産業革命と環大西洋革命 欧米国民国家の形成 帝国主義とアジアの民族運動 【知識及び技能】 産業革命と環大西洋革命について、それぞれの事象の理解を深めるとともに、諸革命の連続性と共通点、相違点について理解する。欧米の国民国家について、国民国家が形成されていく過程と、その具体的な事象について理解する。帝国主義とアジアの民族主義について、欧米諸国によって世界が分割されていく過程と、諸地域に与えた影響を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 産業革命と環大西洋革命について、それぞれの事象の理解を深めるとともに、諸革命の連続性と共通点、相違点について理解しその内容を表現する。欧米の国民国家について、国民国家が形成されていく過程と、その具体的な事象について理解する。帝国主義とアジアの民族主義について、欧米諸国によって世界が分割されていく過程と、諸地域に与えた影響を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 産業革命と環大西洋革命について、それぞれの事象の理解を深めるとともに、諸革命の連続性と共通点、相違点について理解しその内容を表現し他者と共有させる。欧米の国民国家について、国民国家が形成されていく過程と、その具体的な事象について理解する。帝国主義とアジアの民族主義について、欧米諸国によって世界が分割されていく過程と、諸地域に与えた影響を理解し、その内容を表現し他者と共有させる。</p>	<p>・指導事項 産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命 ナポレオン政権 欧州諸国家の国民国家</p> <p>・教材 教科書・準拠ノート・タブレットPC</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>G 単元 産業革命と環大西洋革命 欧米国民国家の形成 帝国主義とアジアの民族運動 【知識及び技能】 産業革命と環大西洋革命について、それぞれの事象の理解を深めるとともに、諸革命の連続性と共通点、相違点について理解できる。欧米の国民国家について、国民国家が形成されていく過程と、その具体的な事象について理解する。帝国主義とアジアの民族主義について、欧米諸国によって世界が分割されていく過程と、諸地域に与えた影響を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 産業革命と環大西洋革命について、それぞれの事象の理解を深めるとともに、諸革命の連続性と共通点、相違点について理解しその内容を表現できる。欧米の国民国家について、国民国家が形成されていく過程と、その具体的な事象について理解する。帝国主義とアジアの民族主義について、欧米諸国によって世界が分割されていく過程と、諸地域に与えた影響を理解できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 産業革命と環大西洋革命について、それぞれの事象の理解を深めるとともに、諸革命の連続性と共通点、相違点について理解しその内容を表現し他者と共有しようとする態度が見られる。欧米の国民国家について、国民国家が形成されていく過程と、その具体的な事象について理解できる。帝国主義とアジアの民族主義について、欧米諸国によって世界が分割されていく過程と、諸地域に与えた影響を理解し、その内容を表現し他者と共有しようとする態度が見られる。</p>	○	○	○	17
<p>合計</p>						93

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：（1組：佐藤）（2組：佐藤）（3組：佐藤）（4組：笠原）（5組：笠原）

使用教科書：（公共（東京法令出版））

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 考察・選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。また、諸資料から、必要な情報を
- 【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、構想したことを
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。また、各国が相互に主

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え、考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解する。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実をもとに多面的・多角的に考察し表現している。	よりよい社会の実現に向け、現代の諸課題における深い理解を通して、人間としての在り方生き方の自覚、主権の尊重を通じて、各国民が協力し合うことの大切さを自覚している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元〔1. 公共的な空間をつくる私たち〕 公共的な空間をつくる私たちについて、様々な角度から理解する。	・指導事項 公共的な空間、アリストテレス日本の風土と文化、信仰、伝統青年期自己形成（適応、防衛機制）キャリア形成、社会参画ジェンダー、異文化共生宗教と文化 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人一台端末の活用	【知識及び技能】 自らを成長させる人間として生き方や、人間が個人として尊重されるべき存在か社会的存在であること、様々な立場や伝統、文化などを背景に社会が成立していることなどを通じて、各人のキャリア形成と自己実現に結びつくことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会に生きる人間の在り方生き方や、社会に自立した主体について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身が、公共的な空間を作り出していることとする自立した主体になることについての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。	○	○	○	5
	単元〔2. 公共的な空間における人間としてのあり方・生き方〕 人間としてのあり方・生き方における考え方を広げ、物事を多面的・多角的に考察する。	・指導事項 幸福とは自由とは正義とは公正とは ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人一台端末の活用 等	【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働する倫理的主体として個人が判断するための手掛かりとなる考え方についての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。	○	○	○	6
	定期考査				○	○	
	単元〔3. 公共的な空間における基本原理と日本国憲法〕 日本国憲法における三大原理と基本的人権について理解する。	・指導事項 人間の尊厳と平等 民主政治と国民主権 消極的自由と公共の福祉 積極的自由と義務 法の支配と人権保障 平和主義 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人一台端末の活用 等	【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解するとともに各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることを捉えている。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における基本的な原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など日本国憲法の基礎にある考え方についての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。	○	○	○	4

2 学 期	<p>単元〔4. 日本の政治機構と政治参加〕</p> <p>日本の政治機構（国会、内閣、裁判所）や選挙、地方自治などの諸事象について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 国会、内閣、裁判所 世界の政治体制 地方自治 選挙 政党政治 国民の政治参加（世論とマスメディア） ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人一台端末の活用 等 	<p>【知識及び技能】</p> <p>日本の政治機構と政治参加について、現代社会での諸事象をもとに、法の意義や役割、国会、内閣の機能や関係性など、現実社会の事柄や課題について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>日本の政治機構と政治参加について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>日本の政治機構と政治参加について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。</p>	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	<p>単元〔5. 経済のしくみ〕</p> <p>経済のしくみを現代社会における企業や財政、金融を通じて、理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 経済活動（生産・分配・消費） 市場のしくみ、市場の失敗 現代の企業 国民所得 景気変動と物価 財政の役割とその課題 金融のしくみとその働き 中央銀行と金融の財政化 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人一台端末の活用 等 	<p>【知識及び技能】</p> <p>経済のしくみについて、現代社会での諸事象をもとに、経済活動や市場経済の動き、財政、金融など、現実社会の事柄や課題について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>経済活動に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>経済活動に関わる現実社会の諸課題についての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	<p>単元〔6. 変化する日本経済〕</p> <p>戦後復興期からバブル後の日本経済までを通じて、日本社会での課題について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 戦後復興期の経済 高度経済成長期の経済 バブル後の経済 日本の中小企業 日本の農業問題 公害防止と環境保全 エネルギーと循環型社会 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人一台端末の活用 等 	<p>【知識及び技能】</p> <p>戦後の日本経済の変遷や諸課題について、現代社会で発生した問題をもとに、その問題の背景や課題について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>日本経済に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>日本経済に関わる現実社会の諸課題についての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。</p>	○	○	○	9
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>単元〔7. 豊かな生活の実現〕</p> <p>豊かな生活の実現に向け、労働者の権利、社会保障などについて理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 契約と法 消費者主権 労働者の権利 現代の雇用・労働問題 社会保障の役割とその課題 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人一台端末の活用 等 	<p>【知識及び技能】 消費者の権利や責任、雇用と労働問題、社会保障の充実や安定化などに関わる現実社会の事柄や課題について、理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 消費生活、労働問題、社会保障に関わる現実社会の諸課題について、幸福・自由・正義・公正などの視点を用いて、事実を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断し、構想したことを議論している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 消費生活、労働問題、社会保障に関わる現実社会の諸課題についての、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。</p>	○	○	○	3
	<p>単元〔8. 持続可能な社会をつくるために〕</p> <p>持続可能な社会の実現に向けて、日本の格差問題における知見を深め、格差社会の是非について、考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 日本の格差問題 ・教材 教科書、資料集、プリント ・一人一台端末の活用 等 	<p>【知識及び技能】 日本の格差問題といった現実社会の諸課題について、課題解決に向けた必要な知識を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
							合計
							47

高等学校 令和5年度（2学年用）教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科：数学 科目：数学Ⅱ 単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 1組～5組

教科担当者：福地・栗田・黒木

使用教科書：高等学校 数学Ⅱ（数研出版）

教科 数学

の目標： 式と証明、高次方程式、図形と方程式、いろいろな関数および微分、積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】知識の習得と技術の習熟を図り、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】事象を多面的にみたり、論理的に考察し、それらを表現する力を身に着ける。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し、数学を活用しようとする姿勢を養う。

科目 数学Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学的活動を通して、いろいろな式、図形と方程式、指数関数、対数関数、三角関数および微分、積分の考えにおける基本的な概念、原理、法則、用語、記号などを理解し、基礎的な知識を身につけ、的確に問題を解決する。	数学的活動を通して、いろいろな考えにおいて、事象を数学的に考察する能力や処理する力を身につけ、論理的に考察し、表現するとともに、過程を振り返り、多面的、発展的に考える。	数学的活動を通して、いろいろな考え方に興味を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	主な評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・3次式の展開公式や3次式の因数分解の公式を用いて式を計算することができる。 ・整式を整式で割り算したり、分式式の計算をしたり、恒等式の性質を理解したりすることができる。	第1章 式と証明 第1節 式と計算	・3次式の展開公式を用いて計算することができる。【知識・技能】 ・3次式の因数分解の公式を用いて計算することができる。【知識・技能】 ・整式を整式で割り算し、商と余りを求めることができる。【知識・技能】 ・分数式の計算をすることができる。【知識・技能】 ・恒等式の性質を理解することができる。【思考・判断・表現】	○	○	○	9
	・等式や不等式が成り立つことを証明することができる。	第1章 式と証明 第2節 等式・不等式の証明	・等式が成り立つことを証明することができる。【思考・判断・表現】 ・不等式が成り立つことを証明することができる。【思考・判断・表現】	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	・複素数の概念を理解し、複素数の計算をしたり、それを解の公式に応用したりすることができる。 ・解と係数の関係を理解することができる。 ・剰余の定理を理解し、高次方程式を解くことができる。	第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	・複素数の概念を理解し、複素数の計算をすることができる。【知識・技能】 ・解の公式を用いて、2次方程式を解くことができる。【知識・技能】 ・解と係数の関係を理解することができる。【思考・判断・表現】 ・剰余の定理を理解することができる。【思考・判断・表現】 ・高次方程式を解くことができる。【思考・判断・表現】	○	○	○	9
	・直線上と平面上での2点間距離、内分点、外分点を求めることができる。 ・直線の方程式を求めることができ、2直線の平行、垂直の条件を理解することができる。	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	・直線上での内分点、外分点を求めることができる。【知識・技能】 ・平面上での2点間距離、内分点、外分点を求めることができる。【知識・技能】 ・直線の方程式を求めることができる。【知識・技能】 ・2直線の平行、垂直の条件を理解することができる。【思考・判断・表現】	○	○	○	11
	・円の方程式を求めることができ、円と直線の位置関係や、2つの円の位置関係を理解することができる。	第3章 図形と方程式 第2節 円	・円の方程式を求めることができる。【知識・技能】 ・円と直線の位置関係を理解することができる。【思考・判断・表現】 ・2つの円の位置関係を理解することができる。【思考・判断・表現】	○	○	○	11
定期考査			○	○	○	1	

2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・角の範囲を拡張して考え、三角関数の値を求めることができる。 ・グラフの周期、振幅、対称性等の性質を理解したり、相互関係の公式を用いて三角関数の値を求めたりすることができる。 	第4章 三角関数 第1節 三角関数	<ul style="list-style-type: none"> ・角の範囲を一般角まで拡張して考えることができる。【思考・判断・表現】 ・三角関数の値を求めることができる。【知識・技能】 ・グラフの周期、振幅、対称性等の性質を理解することができる。【思考・判断・表現】 ・相互関係の公式を用いて、三角関数の値を求めることができる。【知識・技能】 	○	○	○	11
	<ul style="list-style-type: none"> ・加法定理を理解することができる。 ・2倍角や半角の公式を理解することができる。 	第4章 三角関数 第2節 加法定理	<ul style="list-style-type: none"> ・加法定理を理解することができる。【考・判断・表現】 ・2倍角や半角の公式を理解することができる。【思考・判断・表現】 	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
	<ul style="list-style-type: none"> ・指数法則を理解し、指数関数のグラフを描き、その性質を理解することができる。 	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・指数法則を理解することができる。【思考・判断・表現】 ・指数関数のグラフを描き、その性質を理解することができる。【思考・判断・表現】 	○	○	○	11
	<ul style="list-style-type: none"> ・指数と対数の関係を理解し、性質を理解することができる。 ・対数関数のグラフを描き、その性質を理解することができる。 ・常用対数表を用いて、桁数などを求めることができる。 	第5章 指数関数と対数関数 第2節 対数関数	<ul style="list-style-type: none"> ・指数と対数の関係を理解し、性質を理解することができる。【思考・判断・表現】 ・対数関数のグラフを描き、その性質を理解することができる。【思考・判断・表現】 ・常用対数表を用いて、桁数などを求めることができる。【知識・技能】 	○	○	○	16
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・平均変化率や極限值、平均変化率を求めることができる。 ・公式を用いて関数の導関数を求めたり、グラフ上の点を通る接線を求めることができる。 ・増減表を描き、グラフの増減を調べ、関数の最大値、最小値を求めることができる。 	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・平均変化率や極限值、平均変化率を求めることができる。【知識・技能】 ・公式を用いて関数の導関数を求めることができる。【知識・技能】 ・グラフ上の点を通る接線を求めることができる。【知識・技能】 ・増減表を描き、グラフの増減を調べることができる。【知識・技能】 ・グラフから関数の最大値、最小値を求めることができる。【知識・技能】 	○	○	○	18
	<ul style="list-style-type: none"> ・不定積分や定積分を求めることができる。 ・定積分の図形的な意味を理解することができる。 	第6章 微分法と積分法 第3節 積分法	<ul style="list-style-type: none"> ・不定積分を求めることができる。【知識・技能】 ・定積分を求めることができる。【知識・技能】 ・定積分の図形的な意味を理解することができる。【思考・判断・表現】 	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
						合計	140

高等学校 令和5年度 教科 理科 科目 物理基礎

教科：0 科目：物理基礎 単位数：単位
 対象学年組：第2学年 1組～5組
 教科担当者：(1組：阪田) (2組：阪田) (3組：阪田) (4組：阪田) (5組：阪田)
 使用教科書：(高等学校 新物理基礎(第一学習社))

理科の目標：
 【知識及び技能】 日常生活や社会との関連を図りながら、様々な現象を理解するとともに、基本的な技能を身に付ける。
 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目	物理基礎	の目標：
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
	【学びに向かう力、人間性等】	【学びに向かう力、人間性等】

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	【知識及び技能】				配当 時数
				知	思	感	配	
1 学 期	第1章 運動とエネルギー 第1節 物体の運動 ・物体の変位や速度などの表し方について、直線運動を中心に理解する。 ・直線上を運動している物体の合成速度や相対速度を思考、判断、表現する。 ・物体の加速度を理解し、等加速度直線運動について式やグラフに興味関心をもつ。	①速さ ②等直線運動 ③変位と速度 ④速度の合成・相対速度 ⑤加速度 ⑥等加速度直線運動(1) ⑦等加速度直線運動(2) 探究1 加速度運動とグラフ ・ネオバルノート物理基礎 ・一人1台端末の活用 ・小テスト、授業中の発問、実験レポート、授業態度、提出物	【知識及び技能】 物体の変位や速度などの表し方について、直線運動を中心に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 直線上を運動している物体の合成速度や相対速度を考慮することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 物体の加速度を理解し、等加速度直線運動について式やグラフで考えることができる。	○	○	○	6	
	第1章 運動とエネルギー 第1節 物体の運動 ・物体が空中を落下するときの運動を調べ、その特徴を理解する。 ・自由落下や鉛直投射について興味関心を持ち、式やグラフを用いて思考、判断、表現する。	⑧重力加速度と自由落下 ⑨鉛直投射 ⑩水平投射 探究2 自由落下の加速度 ・ネオバルノート物理基礎 ・一人1台端末の活用 ・小テスト、授業中の発問、実験レポート、授業態度、提出物	【知識及び技能】 物体が空中を落下するときの運動を調べ、その特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自由落下や鉛直投射について、式やグラフを用いて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自由落下や鉛直投射について、探究しようとする。	○	○	○	10	
	第1学期中間考査			○	○		1	
	第1章 運動とエネルギー 第2節 力と運動の法則 ・物体にさまざまな力がはたらくことを理解する。 ・物体にはたらく力の合成・分解をベクトルを用いて扱い、つりあいについて思考、判断、表現する。 ・作用・反作用の法則を扱い、つりあう2力との違いに興味関心をもつ。	①力と質量 ②いろいろな力 ③力の合成・分解と成分 ④力のつりあい ⑤作用・反作用の法則 ⑥慣性の法則 ・ネオバルノート物理基礎 ・一人1台端末の活用 ・小テスト、授業中の発問、実験レポート、授業態度、提出物	【知識及び技能】 物体にはたらく力の合成・分解をベクトルを用いて扱い、つりあいについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 作用・反作用の法則を扱い、つりあう2力との違いを作用図により表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 物体にさまざまな力がはたらくことに主体的に関わり、興味を持つ。	○	○	○	6	
	第1章 運動とエネルギー 第2節 力と運動の法則 ・運動の3法則について、観察や実験を通して理解する。 ・運動方程式の立て方について学習し、さまざまな運動状態における運動方程式の立て方を理解する。 ・摩擦力の特徴を理解し、それを含めた運動について思考、判断、表現する。 ・水圧と浮力の関係について興味関心をもつ。	⑦力と質量と加速度の関係(1) ⑧力と質量と加速度の関係(2) ⑨運動の法則 ⑩摩擦力 ⑪流体から受ける力 ・ネオバルノート物理基礎 ・一人1台端末の活用 ・小テスト、授業中の発問、実験レポート、授業態度、提出物	【知識及び技能】 運動方程式の立て方について学習し、さまざまな運動状態における運動方程式の立て方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 運動の3法則について、観察や実験を通して判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 摩擦力の特徴、水圧と浮力の関係について主体的にとらえ取り組む。	○	○	○	4	
第1学期期末考査			○	○		1		
2 学 期	第1章 運動とエネルギー 第3節 仕事と力学的エネルギー ・仕事、仕事の原理、仕事率を学習し、物理における「仕事」について理解する。 ・運動エネルギーと仕事の関係について、式を用いて理解する。 ・位置エネルギーについて、仕事と関連づけてについて思考、判断、表現する。 ・力学的エネルギーの保存について実験などを通して学習し、法則が成り立つ条件について興味関心をもつ。	・ネオバルノート物理基礎 ・一人1台端末の活用 ①力がする仕事 ②仕事の原理と仕事率 ③運動エネルギー ④重力による位置エネルギー ⑤弾性力による位置エネルギー ⑥力学的エネルギー(1) ⑦力学的エネルギー(2) 小テスト、授業中の発問、実験レポート、授業態度、提出物	【知識及び技能】 仕事、仕事の原理、仕事率を学習し、物理における「仕事」について理解する。運動エネルギーと仕事の関係について、式を用いて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 力学的エネルギーの保存について実験などを通して表現し、法則が成り立つ条件とともに判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 位置エネルギーについて、仕事と関連づけて興味を持ち自然の事物に関わろうとする。	○	○	○	6	
	第II章 熱 第1節 熱とエネルギー ・熱運動、セルシウス温度、絶対温度を学習し、温度について理解する。 ・熱と熱量を学習したのち、熱平衡、比熱、熱容量、熱量の保存について思考、判断、表現する。 ・熱と仕事が同等であることを学習し、内部エネルギー、熱力学の第1法則について興味関心をもつ。	①温度と熱運動 ②熱と熱平衡 ③熱量の保存 ④物質の三態 ⑤熱と仕事 ⑥エネルギーの変換と保存 ・ネオバルノート物理基礎 ・一人1台端末の活用 ・小テスト、授業中の発問、実験レポート、授業態度、提出物	【知識及び技能】 熱運動、セルシウス温度、絶対温度を学習し、温度について理解する。熱と熱量を学習したのち、熱平衡、比熱、熱容量、熱量の保存について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 熱機関と熱効率を表現し、可逆変化と不可逆変化について仮想実験などを通して判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 熱と仕事が同等であることを学習し、内部エネルギー、熱力学の第1法則に関する自然の事象に興味を持ち探求しようとする。	○	○	○	8	
	第2学期中間考査			○	○		1	
第III章 波動 第1節 波の性質 ・波の伝わり方について理解し、振動数と周期の関係を学習し、 ・正弦波と波、振幅、波長、周期、振動数など、波の基本的な要素について理解する。 ・波動実験器を用いた観察などを通して、重ねあわせの原理と波の独立性について興味関心をもつ。	①波と振動 ②波の表し方 ③横波と縦波 ④波の重ねあわせ ⑤定常波 ⑥波の反射 ・ネオバルノート物理基礎 ・一人1台端末の活用 ・小テスト、授業中の発問、実験レポート、授業態度、提出物	【知識及び技能】 波の伝わり方について理解し、振動数と周期の関係を身に付ける。正弦波と波、振幅、波長、周期、振動数など、波の基本的な要素について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 一定の時間経過によって移動した波、重なりあった波の作図、パルス波の反射、正弦波の反射について、波形を表現できるようにする。横波、縦波の特徴や、縦波の横波表示について表現し、判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 波動実験器を用いた観察などを通して、重ねあわせの原理と波の独立性について自然の事象に重ねあわせ興味を持ち探求しようとする。	○	○	○	8		

<p>第三章 波動 第2節 音波</p> <p>音の3要素(音の高さ、大きさ、音色)について、音波の波形の特徴を理解する。</p> <p>・うなりが生じるしくみを理解し、うなりの回数を計算することができる。</p> <p>・弦に生じる振動の特徴を学習し、波の波長、振動数の関係について思考、判断、表現する。</p> <p>・気柱に生じる振動の特徴を学習し、波の波長、振動数の関係式について興味関心をもつ。</p>	<p>①音の速さと3要素</p> <p>②波としての音の性質</p> <p>③弦の固有振動</p> <p>④気柱の固有振動</p> <p>探究 気柱の共鳴</p> <p>・ネオバルノート物理基礎</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>・小テスト、授業中の発問、実験レポート、授業態度、提出物</p>	<p>【知識及び技能】うなりが生じるしくみを理解し、うなりの回数を計算することができる。弦に生じる振動の特徴を学習し、波の波長、振動数の関係式を用いて理解する。気柱に生じる振動の特徴を学習し、波の波長、振動数の関係式を用いて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】音波の伝わり方、空気中における音速と温度の関係を表現する。音の3要素(音の高さ、大きさ、音色)について、音波の波形の特徴を判断する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】共振、共鳴の現象、音の反射について身近な現象と関連付けさせる。</p>	○	○	○	7
<p>第2学期期末考査</p>			○	○		1
<p>第四章 電気 第1節 電荷と電流</p> <p>・静電気の現象を学習し、帯電のしくみについて理解する。</p> <p>・電流や電圧とは何かを学習し、オームの法則について思考、判断、表現する。</p> <p>・電気回路の実験において、電流計と電圧計の接続の仕方について興味関心をもつ。</p> <p>・直流と交流の違いを知り、交流の性質を踏まえ、変圧器や送電、電磁波の発生、電磁波の分類について興味関心をもつ。</p>	<p>①電荷</p> <p>②電流と電気抵抗</p> <p>③物質と抵抗率</p> <p>④抵抗の接続</p> <p>⑤電力量と電力</p> <p>①磁場</p> <p>②モーターと発電機</p> <p>③交流の発生と利用</p> <p>④電磁波</p> <p>ネオバルノート物理基礎</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>・小テスト、授業中の発問、実験レポート、授業態度、提出物</p>	<p>【知識及び技能】静電気の現象を学習し、帯電のしくみについて理解する。抵抗の直列接続、並列接続における特徴を踏まえ、合成抵抗を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】ニクロム線などの物質の抵抗と形状の関係について観測し抵抗率を表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】電流や電圧とは何かを学習し、オームの法則、電力量と電力について身近な現象と関連付けさせる。</p> <p>K単元 第四章 電気 第2節 電流と磁場</p> <p>【知識及び技能】直流と交流の違いを知り、交流の性質を踏まえ、変圧器や送電について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】モーターが回転するしくみ、発電機で電気が生じるしくみを思考、判断、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】電流がつくる磁場、電磁波の発生、電磁波の分類について身近な現象と関連付けさせる。</p>	○	○	○	8
<p>3 学 期</p> <p>第四章 電気 第3節 エネルギーとその利用</p> <p>・太陽エネルギーと化石燃料の特徴について学習し、エネルギーの流れや問題点などに興味関心をもち理解する。</p> <p>・放射線の種類とその性質を学習し、原子力発電についてのメリットとデメリットについて思考、判断、表現する。</p> <p>・ユネスコスクールとしてのESD教育活動の探究活動と位置付けており、興味関心をもつ。</p>	<p>①太陽エネルギーの利用</p> <p>②原子核と放射線</p> <p>③原子力とその利用</p> <p>・ネオバルノート物理基礎</p> <p>・一人1台端末の活用</p> <p>・小テスト、授業中の発問、実験レポート、授業態度、提出物</p>	<p>【知識及び技能】太陽エネルギーと化石燃料の特徴について学習し、エネルギーの流れや問題点などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】放射線の種類とその性質を学習し、原子力発電についてのメリットとデメリットを表現し、判断する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】日常生活と深く関わる電気エネルギーが、どのようにつくられているのかに関心を示す。</p> <p>K単元 終章 物理学が拓く世界</p> <p>【知識及び技能】物理学が、日常生活や社会を去っている科学技術と結びついていることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】身のまわりのさまざまなもの(新幹線・橋・自動車・ICカード)が、物理と密接に関わっていることを判断する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】さまざまな事物、現象に関心をもち、物理学と結びつけて考えようとし関心をもつ。</p>	○	○	○	2
<p>学年末考査</p>			○	○		1
					合計	70

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 化学

教科：理科 科目：化学 単位数：4 単位
 対象学年組：第1学年 組～ 組
 教科担当者：（1組：田口）（2組：田口）（3組：田口）（4組：田口）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（第一学習社 高等学校 化学 ）

教科 理科 の目標： 自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

科目 化学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	化学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

- ・配当授業時数は4単位数、1年間を年間32時間(1コマ50分)として、32時間×4=128時間の場合の案を示しています。
- ・実験は授業時数に含めています。 ・「発展的な学習内容」は除いて、授業時数を割り当てています。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<ul style="list-style-type: none"> ・物質の三態の変化を復習し、その変化に伴う熱の出入りを理解する。 ・物質の沸点・融点を分子間力や化学結合と関連付けて理解する。 ・気体の圧力が気体分子の熱運動と密接に関係することを理解する。 ・状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解する。 	・指導事項 第1章 物質の状態 第1節 物質の状態変化 ①物質の三態とその変化 ②気体分子の熱運動と圧力 ③飽和蒸気圧と蒸気圧曲線 ・教材 教科書、タブレット端末、資料集、問題集、実験書、演習用ノート など ・一人1台端末の活用 等 メタモジラスルームを使用 動画配信 など	【知識・技能】 ・構成粒子の熱運動と物質の三態変化を理解し、知識を身に付けている。 ・物質の融点・沸点が分子間力や化学結合の種類と関係し、粒子間に働く力が大きいほど高くなることを理解している。 ・ファンデルワールス力や水素結合について理解している。 ・平衡状態の概念を理解し、知識を身に付けている。 ・沸騰と飽和蒸気圧との関係を理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・気体の圧力を、分子の熱運動と関連づけて考察している。 ・気液平衡における構成粒子の挙動を平衡状態の概念を踏まえて説明している。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質の状態変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	5
<ul style="list-style-type: none"> ・ボイルの法則、シャルルの法則、ボイル・シャルルの法則をそれぞれ理解し、その応用を理解する。 ・気体の状態方程式を理解し、その応用を学習する。また、全圧と分圧を学習し、混合気体の平均分子量を理解する。 ・理想気体と実在気体との違いを理解する。 	・指導事項 第2節 気体の性質 ①気体の法則 ②気体の状態方程式 ③理想気体と実在気体 ・教材 教科書、タブレット端末、資料集、問題集、実験書、演習用ノート など ・一人1台端末の活用 等 メタモジラスルームを使用 動画配信 など	【知識・技能】 ・気体の体積、温度、圧力の間に存在する関係を理解し、知識を身に付けている。 ・実在気体と理想気体についてそれぞれ理解し、知識を身に付けている。 ・混合気体の全圧と分圧の関係について理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・グラフから読み取れる気体の性質を一般式で記述する能力を身に付けている。 ・実在気体の挙動を三態変化の観点から説明し、理想気体との違いを的確に表現している。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・気体の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	6
<ul style="list-style-type: none"> ・化学結合と結晶の性質について、復習する。 ・金属結晶の構造について理解する。 ・イオン結晶の構造について理解する。 ・共有結合の結晶の構造について理解する。 ・分子結晶の構造について理解する。 ・非晶質について理解する。 	・指導事項 第3節 固体の構造 ①化学結合と結晶の種類 ②金属結晶の構造 ③イオン結晶の構造 ④共有結合の結晶の構造 ⑤分子結晶の構造 ⑥非晶質 ・教材 教科書、タブレット端末、資料集、問題集、実験書、演習用ノート など ・一人1台端末の活用 等 メタモジラスルームを使用 動画配信 など	【知識・技能】 ・化学結合と物質の構造や性質との関係に関する基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。 ・単位格子の一边の長さや構成粒子の半径の関係を理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・イオン結晶、共有結合の結晶、分子結晶の性質と化学結合を関係づけて説明している。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・固体の構造に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	6
<ul style="list-style-type: none"> ・溶解のしくみを理解し、固体および気体の溶解度を溶解平衡と関連付けて理解する。 ・凝固点降下、沸点上昇、浸透圧の定量的な取扱いを理解する。 ・コロイドを理解し、その溶液の性質を理解する。 	・指導事項 第4節 溶液の性質 ①溶解と溶液 ②希薄溶液の性質 ③コロイド ・教材 教科書、タブレット端末、資料集、問題集、実験書、演習用ノート など ・一人1台端末の活用 等 メタモジラスルームを使用 動画配信 など	【知識・技能】 ・溶解のしくみについて、溶媒と溶質の組合せによって溶解のしやすさが異なることを粒子モデルと関連付けて理解している。 ・気体の溶解度について、ヘンリーの法則を理解している。 ・希薄溶液の性質について、溶媒との違いを理解している。 ・コロイド粒子とコロイド溶液に関する知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・溶解度の定義を正しく理解し、再結晶によって物質を精製できる原理を考察し、説明している。 ・凝固点降下と質量モル濃度との関係を見だし、説明している。 ・透析によってコロイド溶液を精製できる原理を考察し、説明している。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・溶液の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	10

1
学
期

定期考査			○	○	○	1
<ul style="list-style-type: none"> 化学反応の前後における物質のもつ化学エネルギーの差が熱の発生や吸収となって現れることを理解する。 ヘスの法則を理解する。 結合エネルギーを理解する。 化学反応には、光を放出・吸収するものがあることを理解する。 吸熱反応が自発的に進む要因について理解する。 	指導事項 第1章 物質の変化と平衡 第1節 化学反応と熱・光 ①化学反応とエンタルピー変化 ②ヘスの法則 ③結合エネルギー ④化学反応と光 ⑤エントロピー 教材 教科書、タブレット端末、資料集、問題集、実験書、演習用ノート など 一人1台端末の活用 等 メタモジクラスルームを使用 動画配信 など	【知識・技能】 ・化学反応や状態変化が起こるとき、物質のもつエネルギーが変化することを理解している。 ・化学反応や状態変化に伴うエンタルピー変化を熱化学方程式を用いて表す方法を身に付けている。 ・ヘスの法則を理解し、いくつかの熱化学方程式から、新たな反応熱を求める知識を身に付けている。 ・化学反応には、反応前後における物質のもつ化学エネルギーの差が光の発生や吸収となって現れる反応があることを理解している。 ・吸熱反応が自発的に進む要因として、エントロピーが増大する方向に反応が進むことを理解している。 【思考・判断・表現】 ・いくつかの熱化学方程式をもとに、新たな化学変化のエンタルピー変化を科学的に推定できる。 ・観察、実験を通して熱化学方程式の意義を理解し、ヘスの法則の成立を科学的に論理的に考察している。 ・反応熱の測定ができ、そのデータをグラフ化するなどの処理を行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学反応と熱・光に主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	7
<ul style="list-style-type: none"> 電気エネルギーを取り出す電池のしくみを酸化還元反応と関連付けて理解する。 外部から加えた電気エネルギーによって電気分解が起こることを、酸化還元反応と関連付けて理解する。 反応に関与した物質の変化量が流れた電気量に比例することを理解する。 電気分解の利用として、電解精錬や溶融塩電解を理解する。 	指導事項 第2節 電池・電気分解 ①電池 ②電気分解 ③電気分解の応用 教材 教科書、タブレット端末、資料集、問題集、実験書、演習用ノート など 一人1台端末の活用 等 メタモジクラスルームを使用 動画配信 など	【知識・技能】 ・電解酸化還元反応を利用して、化学エネルギーを電気エネルギーに変換する装置であることを理解している。 ・身近な電池のしくみについて、酸化還元反応と関連付けて理解している。 ・電気分解におけるファラデーの法則を理解し、量的関係を扱う知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・観察、実験を通して、電池の構造、反応を理解し、それらをもとに事象・現象の中に共通性を見だし、酸化還元反応として論理的に考察している。 ・電池や電気分解の実験を行い、その説明を科学的に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電池・電気分解に主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	7
<ul style="list-style-type: none"> 反応速度が単位時間内に変化する物質の量で表されることを理解する。 反応速度と濃度との関係を理解する。 反応速度と温度との関係を理解する。 触媒の働きとその利用を理解する。 	指導事項 第3節 化学反応の速さ ①反応速度 ②化学反応の速さと濃度 ③化学反応の速さと温度 ④触媒 教材 教科書、タブレット端末、資料集、問題集、実験書、演習用ノート など 一人1台端末の活用 等 メタモジクラスルームを使用 動画配信 など	【知識・技能】 ・反応速度の表し方を理解している。 ・反応速度と、反応する物質の濃度や圧力、温度との関係を理解し、知識を身に付けている。 ・触媒が反応速度を変えらる原理を理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・反応条件が変化することによって、反応速度がどのように変化するかを考察し、説明している。 ・触媒の働きを活性化エネルギーにもとづいて考察し、説明している。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学反応の速さに主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	5
<ul style="list-style-type: none"> 可逆反応と不可逆反応、および化学平衡の意味を理解する。 平衡定数の意味を理解する。 化学平衡の移動について、ルシャトリエの原理を中心に理解する。 	指導事項 第4節 化学平衡 ①可逆反応と化学平衡 ②平衡定数 ③平衡移動 教材 教科書、タブレット端末、資料集、問題集、実験書、演習用ノート など 一人1台端末の活用 等 メタモジクラスルームを使用 動画配信 など	【知識・技能】 ・可逆反応と不可逆反応の違いを理解し、知識を身に付けている。 ・平衡定数の意味を理解し、知識を身に付けている。 ・ルシャトリエの原理を理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・化学平衡は、正逆反応の速さと逆反応の速さが等くなった状態であることを考察している。 ・各種の実験結果から、濃度、圧力、温度と平衡移動の方向を関連付けて考察している。 ・平衡移動の方向と、濃度、圧力、温度との関係を調べる方法を示すことができる。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学平衡に主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	5
定期考査			○	○	○	1
<ul style="list-style-type: none"> 弱酸・弱塩基の電離平衡や水の電離平衡について理解する。 pHについての理解を深め、平衡定数の応用を理解する。 塩の性質とその反応について、化学平衡の概念から理解する。 緩衝液とその作用を理解する。 溶解度積を理解する。 	指導事項 第5節 電離平衡 ①電離平衡と電離定数 ②電離定数とpH ③塩の性質と反応 ④緩衝液と緩衝作用 ⑤溶解度積 教材 教科書、タブレット端末、資料集、問題集、実験書、演習用ノート など 一人1台端末の活用 等 メタモジクラスルームを使用 動画配信 など	【知識・技能】 ・塩・塩基の電離平衡における電離定数、電離度、イオン濃度の関係を理解し、知識を身に付けている。 ・濃度積を理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・実験結果から、緩衝液とその作用を平衡と関連付けて考察している。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電離平衡に主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	8
<ul style="list-style-type: none"> 元素の分類を理解する。 典型元素の性質が周期表にもとづいて整理できることを理解する。 水素とその化合物について、性質や用途を理解する。 貴ガスについて、性質や用途を理解する。 ハロゲンとその化合物について、性質や用途を理解する。 酸素、硫黄とその化合物について、性質や用途を理解する。 窒素、リンとその化合物について、性質や用途を理解する。 炭素、ケイ素とその化合物について、性質や用途を理解する。 無機物質の製法について、理解する。 	指導事項 第1章 無機物質 第1節 周期表と元素の性質 ①元素の分類と性質 ②化合物の性質と周期表 第2節 非金属元素 ①水素 ②18族元素 ③17族元素 ④16族元素 ⑤15族元素 ⑥14族元素 ⑦無機化学工業 教材 教科書、タブレット端末、資料集、問題集、実験書、演習用ノート など 一人1台端末の活用 等 メタモジクラスルームを使用 動画配信 など	【知識・技能】 ・典型元素、遷移元素の分類や、金属元素、非金属元素の分類を周期表と関連付けて理解している。 ・典型元素の性質が周期表にもとづいて整理できることを理解している。 ・無機物質を、日常生活および化学工業に関連付けて理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・無機物質の性質や反応などを、元素の周期表と関連付けて考察し、説明している。 ・無機物質について観察・実験を行い、規則性を見いだしたり、さまざまな事象が生じる原因や仕組みを科学的に考察したりしている。 ・無機物質と化学工業との関係をさまざまな観点から、科学的に考察、判断している。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出し、報告書を作成したり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・周期表と元素の性質に主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 ・非金属元素に主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	7
<ul style="list-style-type: none"> アルカリ金属とその化合物について、性質や用途を理解する。 2族元素とその化合物について、性質や用途を理解する。 アルミニウムやスズ、鉛とその化合物について、性質や用途を理解する。 	指導事項 第3節 典型金属元素 ①1族元素 ②2族元素 ③両性を示す典型金属 教材 教科書、タブレット端末、資料集、問題集、実験書、演習用ノート など 一人1台端末の活用 等 メタモジクラスルームを使用 動画配信 など	【知識・技能】 ・アルカリ金属、アルカリ土類金属などの単体や化合物について、性質や反応に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・無機物質を、日常生活および化学工業に関連付けて理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・無機物質の性質や反応などを、元素の周期表と関連付けて考察し、説明している。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出し、報告書を作成したり、発表したりしている。 ・無機物質について観察・実験を行い、規則性を見いだしたり、さまざまな事象が生じる原因や仕組みを科学的に考察したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・典型金属元素に主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	5

2 学期	<p>・遷移元素について、その特徴や性質などを理解する。</p> <p>・鉄とその化合物について、性質や用途を理解する。</p> <p>・銅とその化合物について、性質や用途を理解する。</p> <p>・銀とその化合物について、性質や用途を理解する。</p> <p>・クロムやマンガンの化合物について、性質や用途を理解する。</p> <p>・金属イオンの定性分析について理解する</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 第4節 遷移元素 ①遷移元素 ②鉄 ③銅 ④銀 ⑤亜鉛 ⑥クロムとマンガンの金属イオンの定性分析</p> <p>・教材 教科書、タブレット端末、資料集、問題集、実験書、演習用ノート など 一人1台端末の活用等 メタモジラールームを使用 動画配信 など</p>	<p>【知識・技能】 ・遷移元素の遷移元素の特徴の違いを理解している。 ・遷移元素の単体や化合物について、性質や反応に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・無機物質を、日常生活および化学工業に関連付けて理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・無機物質の性質や反応などを、元素の周期表と関連付けて考察し、説明している。 ・無機物質について観察・実験を行い、規則性を見いだしたり、さまざまな事象が起る原因や仕組みを科学的に考察したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・遷移元素に主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	○	○	○	8
	<p>・有機化合物の特徴と分類について理解する。</p> <p>・有機化合物の構造式を決定するまでの過程を学習し、その原理を理解する。</p> <p>・飽和炭化水素の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</p> <p>・不飽和炭化水素の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</p>	<p>・指導事項 第4章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴 ②特徴と分類 第2節 脂肪族炭化水素 ①飽和炭化水素 ②不飽和炭化水素</p> <p>・教材 教科書、タブレット端末、資料集、問題集、実験書、演習用ノート など 一人1台端末の活用等 メタモジラールームを使用 動画配信 など</p>	<p>【知識・技能】 ・有機化合物のおもな物種や分類の仕方を理解している。 ・構造異性体の関係を理解し、知識を身に付けている。 ・代表的な官能基の性質に対する知識を身に付けている。 ・有機化合物の構造を決定するための過程を理解している。 ・分枝鎖などを用いて炭化水素の構造を学習し、鎖状のものや環状のものがあることを理解している。 ・飽和炭化水素の構造と、性質や反応を関連付けて理解している。 ・不飽和炭化水素の構造について、システマチック異性体を学習するとともに、不飽和結合と性質や反応を関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 ・有機化合物の構造式を決定するための過程を原理と関連付けて説明している。 ・炭化水素の性質や反応性が、その構造に特徴づけられることを見だし、構造異性体を論理的に考察している。 ・鎖状分子の性質や反応性を考察、判断できる。 ・有機化合物に関する観察・実験の基本操作や記録の仕方を習得するとともに、適切な実験器具の選定や実験操作が身に付いている。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出し、報告書を作成したり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・有機化合物の構造に主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 ・脂肪族炭化水素に主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	○	○	○	7
	<p>・アルコール、エーテルの性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</p> <p>・アルデヒド、ケトンの性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</p> <p>・カルボン酸、エステルの性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</p> <p>・油脂、セッケンの性質を、その構造と関連付けて理解する。</p>	<p>・指導事項 第3節 酸素を含む脂肪族化合物 ①アルコールとエーテル ②アルデヒドとケトン ③カルボン酸とエステル ④油脂とセッケン</p> <p>・教材 教科書、タブレット端末、資料集、問題集、実験書、演習用ノート など 一人1台端末の活用等 メタモジラールームを使用 動画配信 など</p>	<p>【知識・技能】 ・有機化合物の性質が官能基によって特徴づけられることをアルコールの誘導種を通じて理解し、さらに、有機化合物相互の関連性について理解している。 ・官能基の性質に対する知識を身に付けている。 ・有機化合物の性質や反応性について、日常生活に関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 ・官能基をもつ有機化合物の性質や反応性が、その構造に特徴づけられることを見だし、構造異性体や鏡像異性体を論理的に考察している。 ・構造式からその性質や反応性を考察、判断できる。 ・酸素を含むものとしてアルコールの誘導種を中心とし、反応性と、有機化合物相互の関連について、観察・実験を通して考察している。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出し、報告書を作成したり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸素を含む脂肪族化合物に主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	○	○	○	8
	<p>・芳香族炭化水素の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</p> <p>・フェノール類、芳香族カルボン酸の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</p> <p>・芳香族アミン、アゾ化合物の性質や反応を、その構造と関連付けて理解する。</p> <p>・芳香族化合物の分離を化合物の性質にもとづいて理解する。</p>	<p>・指導事項 第4節 芳香族化合物 ①芳香族炭化水素 ②酸素を含む芳香族化合物 ③窒素を含む芳香族化合物 ④芳香族化合物の分離</p> <p>・教材 教科書、タブレット端末、資料集、問題集、実験書、演習用ノート など 一人1台端末の活用等 メタモジラールームを使用 動画配信 など</p>	<p>【知識・技能】 ・芳香族炭化水素の構造と、性質や反応を関連付けて理解している。 ・芳香族炭化水素の位置異性体の関係を理解し、知識を身に付けている。 ・有機化合物の性質が官能基によって特徴づけられることをフェノール類、アミンなどを通じて理解し、さらに、有機化合物相互の関連性について理解している。 ・代表的な官能基の性質に対する知識を身に付けている。 ・有機化合物の性質や反応性について、日常生活に関連付けて理解している。 ・有機化合物に関する観察・実験の基本操作や記録の仕方を習得するとともに、適切な実験器具の選定や実験操作が身に付いている。 【思考・判断・表現】 ・芳香族炭化水素や、官能基もつ芳香族化合物の性質や反応性が、その構造に特徴づけられることを見だし、構造異性体や鏡像異性体を論理的に考察している。 ・構造式からその性質や反応性を考察、判断できる。 ・酸素を含むものとしてフェノール類、窒素を含むものとしてアミン類を中心とし、反応性と有機化合物相互の関連について、観察・実験を通して考察している。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出し、報告書を作成したり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・芳香族化合物に主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	1	
3 学期	<p>・高分子化合物の特徴を理解する。</p> <p>・単糖、二糖について、その構造や性質を理解する。</p> <p>・多糖について、その構造や性質を理解する。</p> <p>・再生繊維と半合成繊維について、その合成や性質を理解する。</p> <p>・α-アミノ酸について、その性質や構造を理解する。</p> <p>・タンパク質について、その構造や性質を理解する。</p> <p>・核酸について、その構造や働きを理解する。</p>	<p>・指導事項 第1章 高分子化合物 第1節 高分子化合物 ①高分子化合物の特徴 第2節 天然高分子化合物 ①単糖・二糖 ②多糖 ③α-アミノ酸 ④核酸</p> <p>・教材 教科書、タブレット端末、資料集、問題集、実験書、演習用ノート など 一人1台端末の活用等 メタモジラールームを使用 動画配信 など</p>	<p>【知識・技能】 ・高分子化合物とこれまで学習してきた低分子量の化合物の違いや、高分子化合物の物性を理解している。 ・単糖・二糖の構造と、性質や反応を関連付けて理解している。 ・多糖の構造と、性質や反応を関連付けて理解している。 ・再生繊維、半合成繊維について理解し、知識を身に付けている。 ・α-アミノ酸の構造と、性質や反応を関連付けて理解している。 ・タンパク質の構造と、性質や反応を関連付けて理解している。 ・核酸について理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・単糖・二糖と多糖の関連について考察し、説明している。 ・単糖・二糖、多糖の性質を、観察・実験を通して考察している。 ・α-アミノ酸とタンパク質の関連について考察している。 ・α-アミノ酸とタンパク質の性質を、観察・実験を通して考察している。 ・酵素の働きについて、科学的に考察している。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出し、報告書を作成したり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・高分子化合物の物性に主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 ・天然高分子化合物に主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	○	○	○	11
	<p>・合成高分子化合物の特徴や分類を理解する。</p> <p>・合成繊維について、その構造や性質、用途を理解する。</p> <p>・合成樹脂について、その構造や性質、用途を理解する。</p> <p>・機能性高分子について、その構造や性質、用途などを理解する。</p> <p>・天然ゴムと合成ゴムについて、その構造や性質、用途などを理解する。</p>	<p>・指導事項 第3節 合成高分子化合物 ①合成高分子化合物の特徴 ②合成繊維 ③合成樹脂 ④機能性高分子化合物 ⑤ゴム</p> <p>・教材 教科書、タブレット端末、資料集、問題集、実験書、演習用ノート など 一人1台端末の活用等 メタモジラールームを使用 動画配信 など</p>	<p>【知識・技能】 ・合成繊維の製法や構造、性質、用途を理解し、知識を身に付けている。 ・合成樹脂の製法や構造、性質、用途を理解し、知識を身に付けている。 ・機能性高分子の製法や構造、性質、用途を関連付けて理解している。 ・ゴムの構造、性質、用途を理解し、知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・高分子化合物の構造をもとに性質を考察し、用途に適するものを選択することができる。 ・観察・実験の過程から、自らの考えを導き出し、報告書を作成したり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・合成高分子化合物に主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
	<p>・化学が果たしてきた役割として、さまざまな物質がそれぞれの特徴を生かして人間生活の中で利用され、日常生活や社会を豊かにしていることを理解する。</p> <p>・化学の成果がさまざまな分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解する。</p>	<p>・指導事項 終章 化学の築く未来 ・世界の食糧を支えるアンモニア ・医薬品の開発 ・合成高分子化合物の開発 ・現代の化学を支える機器分析 ・持続可能な社会を目指す</p> <p>・教材 教科書、タブレット端末、資料集 など 一人1台端末の活用等 メタモジラールームを使用 動画配信 など</p>	<p>【知識・技能】 ・さまざまな物質がそれぞれの特徴を生かして人間生活の中で利用され、日常生活や社会を豊かにしていることを理解している。 ・化学の成果がさまざまな分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・無機物質、有機化合物、高分子化合物のそれぞれの物性に着目して、科学技術の発展について、科学的に探究しようとしている。 ・今後の築くべき未来について、具体的な事例を調べ、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学の発展に主体的に関わり、見通しをもったり振り返りなど、科学的に探究しようとしている。 ・学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。</p>	○	○	○	1
						合計	
						128	

高等学校 令和4年度（2学年用） 教科 理科 科目 生物

教科：理科 科目：生物 単位数：4 単位
 対象学年組：第2学年 1組～4組
 教科担当者：（1組：島田）（2組：島田）（3組：島田）（4組：島田）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（高等学校 生物（啓林館））

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

科目 生物 の目標：生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	自然の事物・現象についての観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学期	A 動物の反応と行動 1. 刺激の受容 2. ニューロンとその興奮 受容器の種類によって、刺激を受け取るしくみがそれぞれ異なることを理解する。	・外界の刺激を受容する受容器について、その働きを理解させる。 ・神経細胞が刺激を伝達する仕組みを理解させる。	【知識・技能】 神経のしくみがわかる。伝導と伝達の相違点がわかる。 【思考・判断・表現】 神経系において、刺激を伝達する仕組みを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 各器官のはたらきを理解しようとする。	○	○	○	10
	B 動物の反応と行動 3. 情報の統合 4. 刺激への反応 神経系が末梢神経系と中枢神経系から構成されていることを理解する。脳の構造とはたらきについて理解する。 定期考査	・受容器と効果器を結びつけている神経系のしくみを理解させる。 ・刺激に対し反応して働く効果器の働きを理解させる。	【知識・技能】 神経系の構造とはたらきがわかる。 【思考・判断・表現】 刺激に対し反応して働く器官である効果器の働きを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 各器官のはたらきを理解しようとする。	○	○	○	10
	C 動物の反応と行動 5. 動物の行動 【校内調査、レポート作成】 動物の行動は、遺伝的にプログラムされた生得的な行動と経験によって変化する学習行動によって形成されることを理解する。	・刺激に対する反応として動物個体の生得的な行動を理解させる。 ・動物が生後を受けた刺激により個体の行動を変化させる学習行動を理解させる。	【知識・技能】 環境に応じた反応をする動物の生得的・学習行動がわかる。 【思考・判断・表現】 動物が行動を変化させること、新しい行動を示す学習について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の行動に関心をもつ。	○	○	○	12
	D 植物の環境応答 1. 植物の生活と植物ホルモン 2. 発芽の調節 3. 成長の調節 植物は、周囲の環境の変化を感知して、自らのからだを適切な時期に適切な状態へと変化させていることを理解する。 定期考査	・植物の一生について環境に応答してはたらく植物ホルモンの働きを理解させる。 ・植物の発芽と成長のしくみについて理解させる。 ・開花のしくみについて理解させる。	【知識・技能】 植物の一生にはたらく植物ホルモンの働きがわかる。 【思考・判断・表現】 植物の環境に応答した発芽・成長のしくみを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 しくみを調べる態度が育っている。	○	○	○	12
2 学期	D 植物の環境応答 4. 器官分化と花芽形成の調節 5. 環境の変化に対する応答 6. 配偶子形成と受精 植物の器官の分化は、成長の段階や環境の変化に応じて調節されていることを理解する。	・植物の環境応答に関係している、植物ホルモンの働きについて理解させる。 ・植物の光環境に関係する植物ホルモンについて理解させる。	【知識・技能】 植物の光受容体のはたらきを理解するとともに植物ホルモンの働きがわかる。 【思考・判断・表現】 環境応答に関係している植物ホルモンの働きを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 しくみを調べる態度が育っている。	○	○	○	20
	E 生物の進化 1. 生命の起源と生物の進化 2. 遺伝子の変化と多様性 生物が代謝を通じて地球の環境を変化させてきたこと、地球の環境の影響を受けて生物が進化してきたことを理解する。	・生命の起源として、無機物から有機物が生じ、有機物の集まりから「細胞」が生じたと考えられていることを理解する。 ・生物の形質の変化は、遺伝子の変化によって生じることを理解する。突然変異によって、遺伝的な多様性が生じることを理解する。	【知識・技能】 生命の起源と生命の変遷がわかる。セントラルドグマのしくみがわかる。 【思考・判断・表現】 生物の進化に関係している地球環境の変化を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物進化がどのように起こってきたかを調べようとする。	○	○	○	32
3	F 生物の進化 3. 進化のしくみ 4. 生物の系統と進化 5. 人類の系統と進化 DNAの塩基配列やタンパク質のアミノ酸配列から、生物の系統を推定できることを理解する。生物が、系統に基づいて3つのドメインに分類されることを理解する。	・生物進化がどのようにして起こるのかを理解させる。 ・生物の遺伝と進化のかかわりや進化の仕組みについて理解させる。	【知識・技能】 生物の変異と進化、自然選択によるそのしくみがわかる。 【思考・判断・表現】 進化のしくみ、種分化を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物進化がどのように起こってきたかを調べようとする。	○	○	○	22

学期	G 生物群集と生態系 1. 個体群の構造と性質 2. 個体群内の個体間の関係 3. 物質生産と物質循環	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個体群の成長のしかたには個体群密度が影響していることを理解する。生物の生存曲線の型は、その生物の年齢ごとの死亡率によって大別されることを理解する。 ・ 上位の栄養段階の生物では、利用できるエネルギー量にかぎりがあることを理解する。生態系における物質の循環とエネルギーの移動について、それぞれの特徴を理解する。 	<p>【知識・技能】 ある一定の地域に生息する同種個体の集まりである個体群とその変動がわかる。</p> <p>【思考・判断・表現】 とエネルギー効率や生態ピラミッドを考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解し、生物多様性の重要性を調べようとする。</p>	○	○	○	12
	生態系は異なる生物種からなる個体群の集まりで構成されており、個体群同士は互いに深く関係していることを理解する。生物群集の中で多様な生物種が共存できるしくみを理解する。					合計	132

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：3 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組：松本・山下・広田）（2組：松本・山下・広田）（3組：松本・山下）（4組：松本・山下・広田）（5組：松本・山下・広田）

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、自己の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組む、互いに協力するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 「体づくり運動」 【知識及び技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組む、互いに協力するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	・体づくり運動 ・集団行動	【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則について理解している。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、話し合いに貢献しようとするなどしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	8
単元 「陸上競技」 【知識及び技能】 陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすることや健康や安全を確保する。	・短距離走 ・投てき ・中・長距離走	【知識・技能】 陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすることや健康や安全を確保する。	○	○	○	12
1 学 期 単元 「球技（テニス／バスケットボール／サッカー／バドミントン）」 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開させる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすることや健康や安全を確保する。	・基礎練習 ・応用練習 ・試合	【知識・技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開している。 【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすることや健康や安全を確保している。	○	○	○	16

<p>単元 「水泳」</p> <p>【知識及び技能】 水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとするなど、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クロール ・平泳ぎ 	<p>【知識・技能】 水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとするなど、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	10
<p>単元 「水泳」</p> <p>【知識及び技能】 水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとするなど、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・背泳ぎ ・バタフライ 	<p>【知識・技能】 水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとするなど、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	10
<p>単元 「球技（バスケットボール／テニス／バドミントン／サッカー／ソフトボール）」</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとするなど健康や安全を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎練習 ・応用練習 ・試合 	<p>【知識・技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとするなど健康や安全を確保している。</p>	○	○	○	16
<p>単元 「柔道」</p> <p>【知識及び技能】 柔道について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとするなど健康・安全を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本動作 ・受け身 	<p>【知識・技能】 柔道について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとするなど健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	10

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組～5組

教科担当者：（1組：谷口・大森） （2組：谷口・大森） （3組：谷口・大森） （4組：谷口・大森） （5組：谷口・大森）

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育

の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、自己の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組む、互いに協力するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元 「体づくり運動」</p> <p>【知識及び技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組む、互いに協力するなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動 ・集団行動 	<p>【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、話し合いに貢献しようとするなどしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8
<p>単元 「陸上競技」</p> <p>【知識及び技能】 陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすることや健康や安全を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走 ・中距離走 	<p>【知識・技能】 陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすることや健康や安全を確保する。</p>	○	○	○	12
<p>1 学期</p> <p>単元 「球技（ハンドボール/テニス/バスケットボール）」</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすることや健康や安全を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎練習 ・応用練習 ・試合 	<p>【知識・技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすることや健康や安全を確保している。</p>	○	○	○	16
<p>単元 「水泳」</p> <p>【知識及び技能】 水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとすることや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クロール ・平泳ぎ 	<p>【知識・技能】 水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとするや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	10

2 学 期	<p>単元 「水泳」</p> <p>【知識及び技能】 水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・背泳ぎ ・バタフライ 	<p>【知識・技能】 水泳について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	10
	<p>単元 「球技（サッカー／バスケットボール／テニス／バドミントン）」</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする、健康や安全を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎練習 ・応用練習 ・試合 	<p>【知識・技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開している。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を理解するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする、健康や安全を確保している。</p>	○	○	○	16
	<p>単元 「ダンス」</p> <p>【知識及び技能】 リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教えあおうとすること、作品や発表など話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする、健康・安全を確保する。</p>		<p>【知識及び技能】 リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教えあおうとすること、作品や発表など話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする、健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	10
3 学 期	<p>単元 「陸上競技（長距離走）」</p> <p>陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする、健康や安全を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離走 	<p>【知識・技能】 陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする、健康や安全を確保する。</p>	○	○	○	10
	<p>単元 「陸上競技（長距離走）」</p> <p>陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする、健康や安全を確保する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離走 	<p>【知識・技能】 陸上競技について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする、健康や安全を確保する。</p>	○	○	○	10

<p>単元 「体育理論」</p> <p>【知識及び技能】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者を伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組む。</p>	<p>・運動・スポーツの学び方</p>	<p>単元 「体育理論」</p> <p>【知識及び技能】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者を伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	<p>3</p> <hr/> <p>合計</p> <hr/> <p>105</p>
---	---------------------	---	---	---	---	---

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：（1組：松本）（2組：松本）（3組：松本）（4組：大森）（5組：大森）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	評価				担当時数
			知	思	態		
3 単元「生涯を通じる健康」 オリエンテーション 01 ライフステージと健康 02 思春期と健康 03 性意識と性行動の選択	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・ 各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。 ・ 思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 ・ 思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。 ・ 性意識の男女差について例をあげて説明できる。 ・ 性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・ 思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・ 思春期と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 	○	○	○	5	
04 妊娠・出産と健康 05 避妊法と人工妊娠中絶 06 結婚生活と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 ・ 妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。 ・ 家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 ・ 人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。 ・ 心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。 ・ 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理している。 ・ 加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 ・ 生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯の各段階における健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	8	
定期考査			○	○		1	
07 中高年期と健康 08 働くことと健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できる。 ・ 高齢社会に必要な社会的な取組みについて例をあげて説明できる。 ・ 働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 ・ 働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。 ・ 労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 ・ 労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・ 労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・ 働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。 ・ 労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。 ・ 労働と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	8	

1 学期

09労働災害と健康 健康的な職業生活	10・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。	【知識・技能】 ・働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に応用している。 ・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、個人の取組と社会的対策を整理している。 ・労働と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
4 単元「健康を支える環境づくり」 01大気汚染と健康 02水質汚濁、土壌汚染と健康	・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。 ・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。 ・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。	【知識・技能】 ・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				
2 学期 03環境と健康にかかわる対策 04ごみの処理と上下水道の整備	・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 ・産業廃棄物の処理について説明できる。 ・ごみの処理の現状とその課題について説明できる。 ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。	【知識・技能】 ・健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康への影響や被害を防止するために環境基本法などの法律等が制定されており、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画的対策が講じられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・環境と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○		

<p>05食品の安全性 食品衛生にかかわる活動 健サービスとその活用</p>	<p>06 07保 08医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 ・食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。 ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。 ・食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。 ・保健行政の役割について例をあげて説明できる。 ・保健サービスの活用の例をあげることができる。 ・わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 ・さまざまな医療機関の役割について説明できる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・食品の安全性と食品衛生に関わる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てている。 ・食品と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 ・食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・食品衛生に関わる健康被害の防止と健康の保持増進には、適切に情報を公開、活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果たすことが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	<p>○ ○</p>	<p>4</p>
<p>09医薬品の制度とその活用 さまざまな保健活動や社会的対策 11健康に関する環境づくりと社会生活</p>	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の正しい使用法について説明できる。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。 ・国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。 ・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。 ・健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。 ・環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・一人一人が健康に関心をもち、健康を支える適切な環境づくりに積極的に参加していくことが必要であり、そのことが自分を含めた世界の人々の健康の保持増進につながることに、理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康に関する環境づくりと社会参加について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりに積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てている。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	<p>○ ○</p>	<p>1</p> <p>合計</p>

定期考査			○	○		35
------	--	--	---	---	--	----

高等学校 令和5年度(2学年用)教科

芸術 科目 音楽Ⅱ

教科： 芸術 科目： 音楽Ⅱ 単位数： 2 単位
 対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組
 教科担当者：(1～5 組： 桑原)
 使用教科書： (MOUSA2)

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
○歌唱 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。	・基本的な歌唱の姿勢、呼吸、発声法 ・J-pop ・日本歌曲 ・イタリア歌曲 ・ドイツリート 等	○				【知識及び技能】 創意工夫を生かした歌唱表現に必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付け歌唱で表現しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱・形式・構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについての独自の表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	7
○ギター・弾き歌い ギターの音色や表現の特徴を味わうとともに、ストローク奏法を身につけ、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する。	・コードについて ・ストローク奏法 (・アルペジオ奏法) 等	○	○			【知識及び技能】 創意工夫を生かした器楽・歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽・歌唱で表している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色・リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱・形式・構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについての独自の表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 曲想とギターの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に器楽・歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	7
○楽典・ソルフェージュ ・楽譜の読み方、書き方、楽譜からの情報の読み取り方について理解し、演奏に生かす。	・楽譜の構造 ・音名、音部記号 ・変化記号、調号や臨時記号 ・音価 ・反復記号 ・楽譜の書き方 ・リズム・聴音 等	○	○	○	○	【知識及び技能】 創意工夫を生かした音楽表現するために必要な知識・技能を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽表現する上で必要な知識・技能に関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている。	○		○	4

1 学期

2 学 期	<p>○鑑賞</p> <p>・作曲家の生涯をたどりながら、それぞれの作品の特徴を理解し、魅力を味わう。</p>	<p>・作品鑑賞</p> <p>・作曲家について</p> <p>・音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり 等</p>				<p>【知識及び技能】</p> <p>曲想や表現上の効果と音楽の構造との関り、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関りについて理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>音色・リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱・形式・構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したものと感受したことの関わりについて考えるとともに、極夜演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>曲想や表現上の効果と音楽の構造との関り、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関りに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>○器楽・アンサンブル</p> <p>キーボード・アンサンブルを通して音色や奏法、表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する喜びを味わう。</p>	<p>・キーボードの基礎・基本</p> <p>・アンサンブルについて 等</p>				<p>【知識及び技能】</p> <p>創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身につけ、器楽で表している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>音色・リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱・形式・構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果や、他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。</p>	○		○	8
	<p>○和楽器・弾き歌い</p> <p>和楽器に親しみ、その音色や表現の特徴を味わうとともに、奏法を身につけ、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する。</p>	<p>・日本の伝統楽器について</p> <p>・和楽器の基本</p> <p>・弾き歌い 等</p>				<p>【知識及び技能】</p> <p>曲想と和楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>音色・リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱・形式・構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>曲想と和楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心を持ち、主体的・協働的に器楽・歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>○創作</p> <p>・身近な曲の旋律をもとに、音楽を形づくっている要素の働きを変えることで、曲のもつ表情や雰囲気を変化させ、個性豊かに変奏や編曲をする。</p>	<p>・変奏・編曲</p> <p>・音階・リズム・拍子・調 等</p>				<p>【知識及び技能】</p> <p>音を連ねたり重ねたりした時の響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>音色・リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱・形式・構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて独自の表現意図をもっている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>音を連ねたり重ねたりした時の響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>			○	6
	<p>○楽典・ソルフェージュ</p> <p>・楽譜の読み方、書き方、楽譜からの情報の読み取り方について理解し、演奏に生かす。</p>	<p>・音程</p> <p>・音階</p> <p>・調</p> <p>・和音</p> <p>・リズム・聴音 等</p>				<p>【知識及び技能】</p> <p>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識・技能を身につけている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>音楽表現する上で必要な知識・技能に関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6

高等学校 令和5年度(2学年用)教科

芸術 書道Ⅱ

教科：芸術

科目：書道Ⅱ

単位

2 単位

対象学年組：第 2 学年 3 組～ 4 組

教科担当者：(3、4 組：藤井 (組：) (組：) (組：) (組：) (組：))

使用教科書：(東京書籍 書道Ⅱ)

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅱ の目標：書道の創造的な諸活動を通して、生活の中の文字や書、書の伝統文化と深くかかわる能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
鑑賞活動を通して漢字書体の変遷や書の伝統と文化について理解を深めることで、表現の技能を実感的に高める。	自らの意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫すること、作品や書の良さや美しさを味わって深くとらえること、に関する資質・能力を評価する。意見交換等の言語活動において、習得した知識等を使用できることも「表現」の力とみなす。	作品等の結果ばかりでなく、学習過程において自己の意図に基づく構想の実現のために表現の工夫に粘り強く取り組んだり、学習を自己調整する姿を評価する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学期	篆書の美 ①篆書の成立と変遷について ②石鼓文 ③大うてい(金文) ④甲骨文 ⑤篆書の作品づくり	・篆書の成立と歴史的変遷について理解を深める。プリント ・代表的な篆書の古典を鑑賞、臨書することで時代背景などに関する知的理解を図り、それぞれの古典の特徴を把握し篆書の効果的な表現の技能を身に付ける。 ・好みの古典を選び主体的に臨書作品を半切に2行の配置で作成する。	【知識・技能】甲骨文から小篆への文字の変遷について理解したか。 【思考・判断・表現】 それぞれの古典の特徴を捉え臨書することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の好みの古典を選び主体的に作品制作に取り組めたか。	○	○	○	12
	定期考査						
	隸書の美 ①隸書の成立と変遷 ②礼器碑 ③張遷碑 ④居延漢簡 ⑤開通褒斜道刻石 ⑥隸書の半切作品制作	・篆書から隸書への変遷について書写環境の変化、筆の改良にも触れて理解を深められるようにする。 ・楷書との相違点を考察し、特徴をとらえられるようにする。 ・直感的鑑賞、分析的鑑賞の両方を大切にする。 ・隸書の中での好みの古典を選び主体的に作品制作に取り組む。	【知識・技能】篆書から隸書への変遷について理解したか。 【思考・判断・表現】 八分隸、古隸、木簡、それぞれの特徴をとらえて臨書することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の好みの古典を選び主体的に作品制作に取り組むことができたか。	○	○	○	14
定期考査							
2 学期	篆刻の学習 ①印の歴史について理解する。 ②姓名印2か制作 ③書作品への押印	生徒各自の書作品に押印するための姓名印の作成である事を理解させる。 ・印の章法(変化、空間の比、文字の粗密の対比、辺線の軽重等)についても紹介してより良い作品制作への意欲を高める。 ・篆刻印制作の手順を理解する。 ・押印のために印泥の使い方を理解する。	・印の歴史について理解できたか。 ・印の章法を考慮しながら創意工夫を凝らして印稿を作ることができたか。 ・正しい運刀法で印を刻すことができたか。 ・印泥を正しく使って押印することができたか。 ・一連の篆刻の作業を自らの意図に基づいて主体的に進めることができたか。 ・印泥を使って作品への押印できたか。	○	○	○	18
	押印し完成した書作品を鑑賞し、作品集としてまとめる。(和綴じ)	・効果的な作品への押印位置というものがあることを理解する。 ・押印することにより作品の格が上がることを感じ取れるように配慮する。	・効果的な作品への押印位置を見極められるようになったか。 ・和綴じ(四ツ目綴り)で自分の作品集を作ることができたか。	○	○	○	6

3 学 期	漢字が仮名用じりの書 ①紙面構成 ②古典を生かした表現 ③用具用材の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・行書きと散らし書きの違いを理解する。 ・行間の取り方が音読した時に相当する事を理解する。 ・古典から学んだことを活かして仮名と漢字を調和させる必要があることを理解する。 ・用具用材が変わるだけで作品が大きく変化することを体感する。 	紙面構成の作品への効果について理解できたか。 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名を調和させることができるようになったか ・用具用材を工夫することで作品の雰囲気が変わることを知り、漢字かな交じりの書の作品への制作に対する創作意欲が高まったか。 	○	○	○	10
	漢字かな交じりの書の創作 ①撰文 ②草稿 ③試書と鑑賞・意見交換会 ④清書 ⑤完成作品鑑賞会	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権について理解を深め、他人が発表した詩文などを題材に選ぶ時は作者名や作品名等を明記するなどして著作権に配慮しなければならぬ事を理解する。 ・草稿は実際に書いてみることで次のアイデアが浮かびやすくなることを体感する。 ・ほかの生徒との交流や意見交換の中で新たな作品制作の手がかりを見つけられるように配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字かな交じりの書の創作作品として発表したいと思える言葉を見つけることができたか。 ・著作権について理解できたか。 ・自分が見つけてきた言葉と向き合い、表現の意図に基づいて複数のアイデアで試書することができたか。 ・複数のアイデアの中から自らの意図に基づいて最適と思うものを選び取り、最後まで投げ出すことなく漢字かな交じりの書の作品として仕上げる事ができたか。 ・鑑賞会において、他の生徒の作品の評価をすることができ、更に鑑賞後の自分の感想を文章にすることができたか。 	○	○	○	10
	合計						

令和5年度 授業計画

東京都立山崎高等学校

2学年	教科名	英語	科目名	必修 コミュニケーション英語Ⅱ	単位数	4	担当者名
教科書	Power On English Communication II						加藤 恵仁 本田 工藤 奈津子
副教材	Power On English スタディノート / Power On English Workbook / ALL EARS Standard / 英単語 Stock3000						

学期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
1 学期	4	Lesson 1 Play Me, I'm Yours	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙・文法の間違いを恐れず、まとまりのある文を構成できる力を育成する。 ・ 意味の区切りや個々の単語の発音、イントネーションに注意し、正確に音読できる力を育成する。 ・ 英語の音声を聴いて、内容を理解できる力を育成する。 ・ 英文を最後まで読み、概要を把握する力を育成する。 ・ 基本英単語を定着させる。 	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度 外国語表現の能力 外国語理解の能力 言語や文化についての 知識・理解 観察・ワークシート・小テスト	48
	5・6	Lesson 2 Ethical Fashion			
	6・7	Lesson 3 One for All, All for One			
		Lesson 4 Vending Machines			
2 学期	9・10	Lesson 5 Design for Connecting Society : Braille Neue	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙・文法の間違いを恐れず、まとまりのある文を構成できる力を育成する。 ・ 意味の区切りや個々の単語の発音、イントネーションに注意し、正確に音読できる力を育成する。 ・ 英語の音声を聴いて、内容を理解できる力を育成する。 ・ 英文を最後まで読み、概要を把握する力を育成する。 ・ 基本英単語を定着させる。 	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度 外国語表現の能力 外国語理解の能力 言語や文化についての 知識・理解 観察・ワークシート・小テスト	56
	10・11	Lesson 6 New Banknotes			
		Lesson 7 Some Secrets about Colors			
3 学期	1	Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙・文法の間違いを恐れず、まとまりのある文を構成できる力を育成する。 ・ 意味の区切りや個々の単語の発音、イントネーションに注意し、正確に音読できる力を育成する。 ・ 英語の音声を聴いて、内容を理解できる力を育成する。 ・ 英文を最後まで読み、概要を把握する力を育成する。 ・ 基本英単語を定着させる。 	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度 外国語表現の能力 外国語理解の能力 言語や文化についての 知識・理解 観察・ワークシート・小テスト	36
		Lesson 9 Flying after Her Dreams			

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科: 家庭 科目: 家庭基礎 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第2学年 1組~ 5組
 教科担当者 (1~5組: 及川・鮎島)
 使用教科書 (未来へつなぐ家庭基礎365)

教科 家庭 の目標:
【知識及び技能】 生活を主体的に営むために必要な基礎的・基本的な知識と技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 生活の充実向上のための課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、創意工夫ができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活に充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標:	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を園とともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家族や地域及び社会における生活の中から課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を計画・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活に充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。	

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	【学びに向かう力、人間性等】			配当 時数	
			知	思	態		
1 学期	【食生活と健康】 ・食事の大切さを知る。 ・食事の役割を考える。 ・安全や健康の観点から、食品を適切に選択したり保存したりする方法について理解する。 ・調理実習を経験することで基本的な知識と技術を身に付けさせる。	・食事と健康のかかわりや、人の一生における食事の役割について理解する。 ・調理の基本的な技術を身に付け安全や衛生面に配慮した調理ができるようになる。 ○教科書、副教材、DVD教材、ICT ○一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・食と健康の関わりについて知り、食事の大切さを理解している。 ・料理の作り方を理解し、基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自身の食生活を分析し、現代の食生活の傾向と課題を比較して、まとめたり、発表したりすることができる。 ・調理の安全や衛生について具体的に考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生活の多様化や食環境の変化について知り、現在・将来の自分自身や、家族にとっての食生活の課題を自分事として捉え、食生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 ・調理実習で学んだことを家庭などで実践し、生活の充実向上を図っている。	○	○	○	8
	【生涯の生活設計】 ・各ライフステージの特徴と課題を理解する。 ・どう生きていくかを考え、自分の生涯の生活設計を立てる。	・私たちは生涯発達し続ける存在であることを理解する。 ・これから起こる人生のイベントを想定し、目標を立ててそのための意思決定について考える。 ○教科書、副教材、DVD教材、ICT ○一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに対応した意思決定の必要性について理解している。 【思考・判断・表現】 ・自分の人生について想像し、まとめたり発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各ライフステージごとの発達課題に関心をもち、学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	【青年期の自立と家族・家庭】 ・5つの自立について理解する。 ・家族の形や機能について理解する。 ・世帯や家族関係の変化を理解する。 ・男女共同参画社会について知る。 ・家族や家庭に関する法律を知る。	・青年期とはどのような時期なのかを知り、青年期に必要な自立について考える。 ・家庭生活を支える職業労働と家事労働の特徴を理解する。 ・家族・家庭を様々な観点から考えて自分なりの価値観を築く。 ・家庭生活を支える基本的法律について理解する。 ・男女共同参画社会について知り実現のためにできることを自分なりに考える。 ○教科書、副教材、DVD教材、ICT ○一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・青年期の5つの自立について理解している。 ・現代の家族の特徴について、家族の機能の変化や人々の意識の変化などから理解している。 ・家族・家庭に関わる法律や福祉について理解している。 【思考・判断・表現】 ・具体的な事例や事象を通して、これからの家族のあり方について考え、まとめたり発表したりすることができる。 ・自分の人生をどう生きるか、関連資料などを参考に将来を創造しながらまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家族・家庭と社会のかかわりに関心をもち、パートナーと協力して家庭を築くという視点から学習活動に取り組もうとしている。 ・青年期の課題や家族・家庭についての学習活動を、自分の問題として捉えようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	
2 学期	【住生活と住環境】 ・住まいの4つの空間を知る。 ・住まいの役割について考える。 ・地震に対する備えの重要性について理解する。 ・事故や犯罪の予防について考える。 ・平面図の読み方を理解する。 ・日本と世界の住まいの特徴を知る。 ・持続可能な住まい方について理解する。	・4つの生活空間、3つの役割について理解する。 ・住まいの空間や生活行為、役割を考える。 ・自然災害の特徴と、生活における対策の方法を調べる。 ・家庭内事故や火災、犯罪を防ぐために生活の中でできる備えについて知る。 ・ライフステージや動線と考慮し平面図を読み取ったり、書いたりする。 ・一人暮らしに当たり広告の視点を学ぶ。 ・日本の住まいの変遷を調べ、日本と世界の住まい方を比較する。 ○教科書、副教材、DVD教材、ICT ○一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・4つの役割について理解している。 ・安全な住生活を送るための知識を身に付けている。 ・環境に配慮した住生活について理解している。 ・日本と世界の住居や住まいの関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・人間の住まいの特徴について、自身の生活と関連付けながらまとめたり発表したりすることができる。 ・防犯、防火、耐震などに配慮して安全に住むことができる住居について考えることができる。 ・住んでいる地域のマップなどを参考に、防災への備えについて考えることができる。 ・平面図を読み取ったり、住宅広告の情報を読み取ることができる。 ・日本や世界の住居、住居のバリエーションやユニバーサルデザインなどについて、調べたり、考えたりして発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・住まいの役割について、自身の生活を振り返りながら考えようとしている。 ・住居の安全性や防災の知識を活かして、家庭生活において具体的な行動に移すことができる。 ・将来の住まい方について考えようとしている。 ・共生できる住居のあり方などについて理解しようとしている。 ・住居の持続可能性について自分事として考えようとしている。 ・住生活の文化について関心を持っている。	○	○	○	8
	【衣生活と健康】 ・人間の生活と衣服のかかわりについて理解する。 ・衣服の持つ機能について理解する。 ・衣服素材(繊維・糸・布)の種類や特徴について理解する。 ・衣服の手入れ、保管について理解する。	・自分が服を着ている理由を考え人間特有の行動を認識する。 ・天然繊維と化学繊維の種類と特徴について理解する。 ・家庭で使用している洗濯機のタイプや機能を調べ、適切な使い方をするための知識を深める。 ・洗濯用洗剤や仕上げ剤の特徴を知り、正しく洗濯する手順を知る。 ・クリーニングの利用時の注意点を認識させる。 ○教科書、副教材、DVD教材、ICT ○一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・衣服の機能と着用理由、衣服の健康への影響などを理解している。 ・衣服素材の種類・特徴・性能・着心地・構成・ゆとりなどの重要性を理解している。 ・洗濯剤について理解し、適切に行う技術を習得している。 ・界面活性剤や仕上げ剤の役割を理解している。 【思考・判断・表現】 ・衣生活に関する学習を通して、自身の着装について考え、まとめ、発表できる。 ・衣服の機能や繊維の性質を、他教科の知識などを活用して科学的に考えている。 ・衣服の手入れや保管方法について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の衣生活の分析を通して、衣服に関心をもちようとしている。 ・洗濯剤についての知識を、自分の衣生活を豊かにする知識として興味を持って取り組んでいる。 ・衣服の管理についての知識を自分の生活に活かそうとしている。	○	○	○	8
【生活における経済と消費生活】 ・家計と社会の関わりを理解する。 ・将来の経済計画を考える。 ・私たちの消費生活について考える。 ・消費者問題を理解する。 ・消費者問題の現状と課題を理解する。 ・消費者の権利と責任を理解する。	・家計の仕組みについて理解し、家計と社会と密接に関わっていることを知る。 ・収入と支出のバランスについて理解する。 ・金融商品の特徴について理解し、将来の財産管理について考える。 ・将来行動への意思決定には様々な要因があることを理解し、自分の消費行動について客観的に考える。 ・一人で契約するときの注意点や心構えについて理解する。 ・消費者トラブルと消費者保護のしくみについて理解する。 ○教科書、副教材、DVD教材、ICT ○一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・家計と経済社会のかかわりを理解している。 ・家計における収入と支出、金融商品とその特徴について理解している。 ・生涯を見通した経済計画について、必要な情報の収集や整理が適切にできる。 【思考・判断・表現】 ・将来必要になる費用や資産形成について考えた。発表したりすることができる。 ・消費者問題について調べ、被害防止や救済について具体的な事例として考え、まとめたり発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・収入と支出のバランスを考え、自分の家計簿をつけるなど工夫している。 ・消費者問題について自分ごととして捉え、対策を考えようとしている。また、他の人への啓発意識を持っている。	○	○	○	8	

東京都立高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間 単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組： 松本 ）（2組： 辰巳 ）（3組： 桑原 ）（4組： 大森 ）（5組： 鮫島 ）

使用教科書：（ 人間と社会 東京都教育委員会 ）

教科 総合的な探究の時間 の目標： 選択・行動に関する資質・能力を育成する学習、体験活動による学習を通してよりよい生き方の主体的な選択を育成することを目指す。

【知識及び技能】 価値の理解を深める学習、選択・行動に関する能力を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】 学習、体験活動などを通して、徳徳を養い、形成した判断基準（価値観）を高める。

【学びに向かう力、人間性等】 社会的現実にも照らし、よりよい生き方を主体的に選択し、行動する能力を育成する。

科目 総合的な探究の時間 の目標： 選択・行動に関する資質・能力を育成する学習、体験活動による学習を通してよりよい生き方の主体的な選択を育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> 様々な価値や考え方があるとい多様性の理解や他者と共同することの意義の理解等。 他者と協働する技能等。 必要な情報の収集・整理・分析等。 	<ul style="list-style-type: none"> 一面的な考察から多面的・多角的考察への変化や自己の内面の変化から自己の行動の変化等。 自他の考え方や調べた知識等を他者に伝える力等。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会の一員として主体的に関わろうとする姿勢等。 問いや課題を見付け、学習に主体的に取り組もとする姿勢等。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	1 学年「人間と社会」での探究活動から得られた「新たな問い」の振り返りから、2 学年の探究テーマの決定、探究計画書の作成を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 1 学年「人間と社会」グローバルな視点からの探究の振り返り 2 学年の探究テーマ決定グローバルな視点→日本→東京→町田・山崎町へ視点を向ける 探究計画書の作成 「背景・目的・方法」 探究計画書の発表 フィールドワーク・アンケートの作成 	<p>【知識・技能】</p> 様々な価値や考え方があるとい多様性の理解や他者と共同することの意義の理解等。	○	○	○	12
2 学 期	1 2 月開催予定「第 1 回 山崎サミット」へ向けた探究活動を行う。 ・探究計画書の方法で示した、フィールドワーク、アンケートから探究活動を行う。 ・探究結果をまとめる。 ・「山崎サミット」へ向けた発表準備。 ・「山崎サミット」開催。	<ul style="list-style-type: none"> 探究活動「フィールドワーク、アンケートの作成」 探究計画書の結果とまとめ 「山崎サミット」へ向けた発表準備とスライド作成 	<p>【知識・技能】</p> 様々な価値や考え方があるとい多様性の理解や他者と共同することの意義の理解等。	○	○	○	14
3 学 期	・「山崎サミット」で発表し、議論した結果得られた「新たな問い」をまとめる。 ・1 年間の振り返り	1 年間の探究活動のまとめをし、次年度に活かせるように指導する。	<p>【知識・技能】</p> 様々な価値や考え方があるとい多様性の理解や他者と共同することの意義の理解等。	○	○	○	9
合計							35